

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2003 年 2 月 20 日 (20.02.2003)

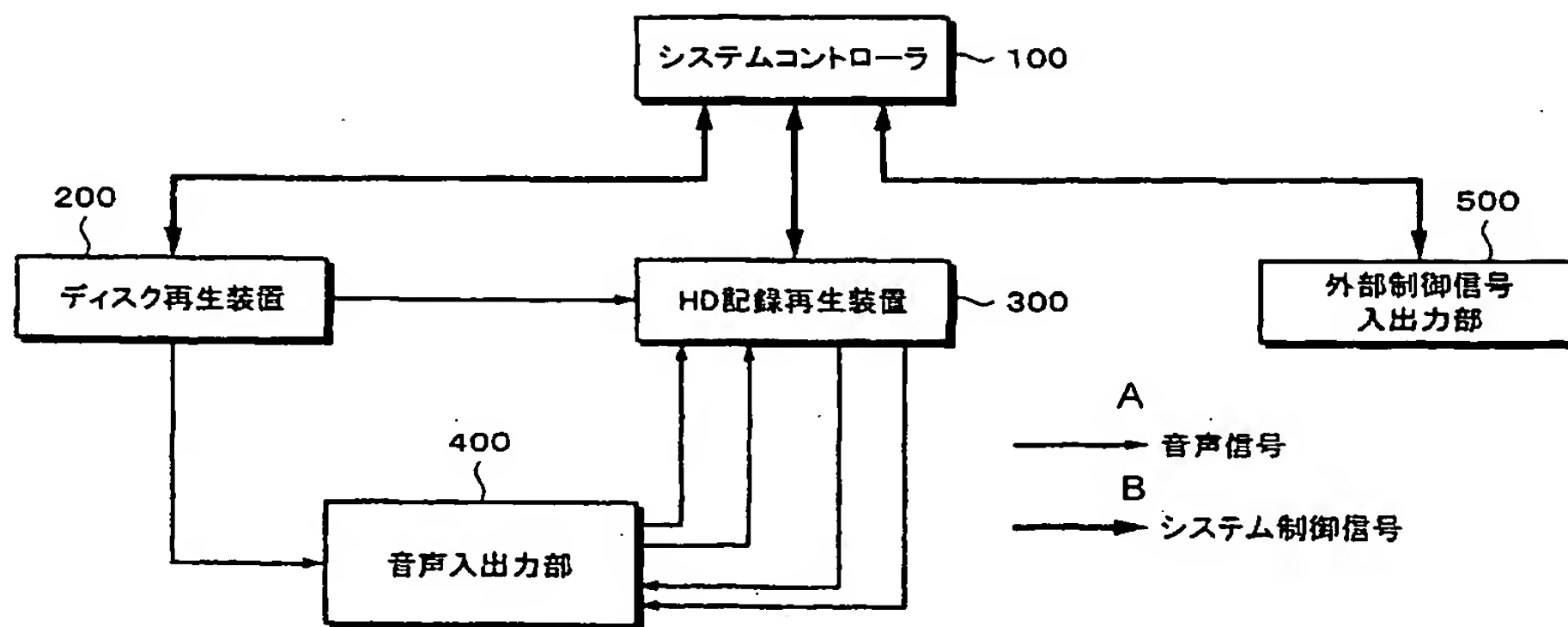
PCT

(10) 国際公開番号
WO 03/014973 A1

- (51) 国際特許分類: G06F 17/30, G11B 27/10, 27/34, G06F 12/00
- (21) 国際出願番号: PCT/JP02/07163
- (22) 国際出願日: 2002 年 7 月 15 日 (15.07.2002)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ: 特願 2001-237175 2001 年 8 月 3 日 (03.08.2001) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): ソニー株式会社 (SONY CORPORATION) [JP/JP]; 〒141-0001 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 工藤 繁孝 (KUDO, Shigetaka) [JP/JP]; 〒141-0001 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 杉浦 正知, 外 (SUGIURA, Masatomo et al.); 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2 丁目 49 番 7 号 池袋パークビル 7 階 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): CN, KR, US.
- 添付公開書類:
— 国際調査報告書
- 2 文字コード及び他の略語については、定期発行される各 PCT ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: SEARCH APPARATUS AND SEARCH METHOD

(54) 発明の名称: 検索装置および検索方法



100...SYSTEM CONTROLLER
200...DISC REPRODUCING APPARATUS
300...HD RECORDING/REPRODUCING APPARATUS
500...EXTERNAL CONTROL SIGNAL I/O UNIT
400...AUDIO I/O UNIT
A...AUDIO SIGNAL
B...SYSTEM CONTROL SIGNAL

(57) Abstract: When an album search is started, a user prompting message "For Album" appears on the screen. When the user selects the album search, a message "By Title?" is displayed to prompt the user to select the album title search. When the user selects the title search, the message "Keyword IN" appears to prompt the user to perform keyword input. When the user inputs a keyword "P" to

[続葉有]

BEST AVAILABLE COPY

WO 03/014973 A1



match with the search, a HD recording/reproducing apparatus (300) references an album title/track title database file stored in an HDD (309) and searches for the title of the album having the keyword input. The search result is displayed and a highlighted portion of the track contained in the album as the search result is successively reproduced starting with track 1.

(57) 要約:

アルバム検索を開始すると、ユーザに促す表示“F o r A l b u m ?”が表示される。ユーザがアルバム検索を選択すると、アルバムのタイトル名検索の選択をユーザに促す“B y T i t l e ?”が表示される。ユーザがタイトル名検索を選択すると、キーワード入力をユーザに促す表示“K e y w o r d I N”が表示される。ユーザが検索にマッチさせたいキーワード“P”を入力すると、HD記録再生装置300がHDD309に格納されているアルバム名・トラック名データベースファイルを参照し、入力されたキーワードを有するアルバムのタイトル名を検索する。そして、検索結果が表示されるとともに、この検索結果に該当するアルバムに含まれるトラックのハイライト部分がトラック1より順次再生される。

明 細 書

検索装置および検索方法

技術分野

- 5 この発明は、検索装置および検索方法に関し、特に、記録媒体に記録された複数のプログラムから所望のプログラムを検索可能な検索装置および検索方法に関する。

背景技術

- 10 従来、オーディオ機器で用いられている記録媒体は、80分程度のオーディオデータを記録できる容量のものが一般的であったが、近年の記録媒体の大容量化に伴い、従来とは比較にならないほど長時間のオーディオデータを記録媒体に格納できるようになっている。また、記録メディアの低価格化も進み、ユーザは大容量記録媒体を安価に享受できるようになっている。その中であって、大容量記録媒体の代表であるハード
- 15 ディスクドライブ（以下、HDD）は、容量の大きさ、価格の面で、近年最も注目されているメディアである。

- このHDDでは、従来の記録媒体と比較にならないほど多くのアルバム／トラックを格納できるため、ユーザはお気に入りのアルバム／トラックがHDD内のどこに記録されているかを即座に把握することは困難
- 20 になっている。そこで、アルバム／トラックに付随する名称やアーティストの名称を用いて、HDDに格納された大量のアルバム／トラックから、所望のアルバム／トラックを高速に検索する再生装置が提案されている。

- 25 上述した再生装置では、アーティストの名称を用いて、アルバム／トラックを検索した場合には、画面に収まりきらないほどの複数のアルバ

ム名あるいはトラック名が表示されることがある。この場合には、ユーザは画面をスクロールしながら、所望のアルバムのアルバム名あるいは所望のトラックのトラック名を検索しなければならないため、所望のアルバムあるいはトラックを検索する作業は、ユーザにとって煩わしいものとなっていた。

また、データ検索が文字のみの情報により行われ、直感的でないため、所望のアルバムやトラックを検索するためには時間がかかってしまうという問題もあった。

さらに、HDDに大量のアルバム／トラックを格納した場合、ユーザが、検索したいアルバムのアルバム名や検索したいトラックのトラック名（曲タイトル）を知らない場合が頻繁にあり、所望のアルバムやトラックを検索することは困難であった。

したがって、この発明の目的は、ユーザが、所望のアルバムあるいはトラックを容易に検索することができる検索装置および検索方法を提供することにある。

また、所望のアルバムおよびトラックを直感的に検索することができる検索装置および検索方法を提供することにある。

さらに、ユーザが検索したいアルバムのアルバム名やトラックのトラック名を知らない場合にも、検索を容易に行うことができる検索装置および検索方法を提供することにある。

発明の開示

上述した課題を解決するために、請求の範囲 1 の発明は、複数のプログラムが記録されたプログラム領域とプログラム領域に記録された複数のプログラムが集合化されて管理されるとともに集合化されたグループに対するグループ名とグループに属するプログラムに対応するプログラ

ム名が管理され、更に集合化されたグループに属する代表プログラムの
ハイライト部分と各プログラムのハイライト部分が管理される管理領域
とを備えてなる記録媒体に収録された所望のプログラム／グループを検
索する検索装置は、

- 5 検索したい所望のプログラム名／グループ名の一部若しくは全部を入
力する入力手段と、

入力手段にて入力されたプログラム名／グループ名の一部若しくは全
部と記録媒体の管理領域に管理されているプログラム名／グループ名を
比較する比較手段と、

- 10 比較手段の比較結果に基づいて検索したい所望のプログラム／グルー
プの候補リストを表示する表示手段と、

表示手段に候補リストを表示するとともに表示された候補リストに対
応する所望のプログラム／グループのハイライト部分を再生する制御手
段と

- 15 を備えてなる検索装置である。

- 請求の範囲 6 の発明は、複数のプログラムが記録されたプログラム領
域とプログラム領域に記録された複数のプログラムが集合化されて管理
されるとともに集合化されたグループに対するグループ名とグループに
属するプログラムに対応するプログラム名が管理され、更に集合化され
20 たグループに属する代表プログラムのハイライト部分と各プログラムの
ハイライト部分が管理される管理領域とを備えてなる記録媒体に収録さ
れた所望のプログラム／グループを検索する検索方法は、

- 入力されたプログラム名／グループ名の一部若しくは全部と記録媒体の
管理領域に管理されているプログラム名／グループ名を比較する比較工
25 程と、

比較工程の比較結果に基づいて検索したい所望のプログラム／グループ

の候補リストを表示する表示工程と、
表示された候補リストに対応する所望のプログラム／グループのハイライト部分を再生する制御工程とを備えてなる検索方法である。

- 請求の範囲 1 および 6 に係る発明では、入力手段により検索を所望するプログラム名／グループ名の一部若しくは全部が入力されると、比較手段が、
5 入力されたプログラム名／グループ名の一部若しくは全部と記録媒体に記録されたプログラム名／グループ名を比較し、この比較結果に基づいた候補リストを表示手段が表示し、制御手段が候補リストに対応する所望のプログラム／グループのハイライト部分を再生するので、
10 複数の検索結果が表示された場合にも、ユーザは容易に所望のプログラム／グループを特定することができる。

図面の簡単な説明

- 第 1 図は、この発明の一実施形態によるダビング装置の構成の一例を示すブロック図である。第 2 図は、この発明の一実施形態によるシステムコントローラ 1 0 0 の構成の一例を示すブロック図である。第 3 図は、この発明の一実施形態によるディスク再生装置 2 0 0 の構成の一例を示すブロック図である。第 4 図は、CD におけるフレームの構成の一例を示す略線図である。第 5 図は、CD におけるサブコードのフォーマット
20 構成の一例を示す略線図である。第 6 図は、CD におけるサブコードフレームの構成の一例を示す略線図である。第 7 図は、サブコードにおける Q データの構成の一例を示す略線図である。第 8 図は、Q データ内におけるデータ部の構成の一例を示す略線図である。第 9 図は、この発明の一実施形態による HD 記録再生装置の構成の一例を示すブロック図である。第 1 0 図は、この発明の一実施形態による HD 記録再生装置にオーディオデータを録音する処理を説明するためのフローチャートである。
25

第 1 1 図は、この発明の一実施形態における H D 記録再生装置にオーディオデータを録音する処理を説明するためのフローチャートである。第 1 2 図は、H D D 内に記憶されるファイルの構造を示す枝図面である。第 1 3 図は、アルバム番号管理ファイルのデータ構造図である。第 1 4 5 図 A は、アルバム番号管理ファイルのヘッダ部の構造図であり、第 1 4 図 B は、アルバム番号管理ファイルのヘッダ部以外の部分の構造図である。第 1 5 図は、アルバム再生管理ファイル P b x x x x x x . m s f の構造図である。第 1 6 図は、連続した 1 つの A T R A C 3 データファイルを所定単位ごとに分割するとともに属性ファイルを付加した場合 10 のデータ構造図である。第 1 7 図 A は、この発明のコンバイン編集処理および分割編集処理を説明するためのオーディオデータを 2 曲連続して記録する場合のファイル構造図である。第 1 7 図 B は、この発明のコンバイン編集処理により 2 つの曲をコンバインした結果の構造図である。第 1 7 図 C は、この発明の分割編集処理により 2 つの曲にディバイドした結果の構造図である。第 1 8 図は、アルバム再生管理ファイル P b x . x x x x x . m s f のデータ構造図を示す。第 1 9 図 A は、アルバム再生管理ファイル P b x x x x x x . m s f のヘッダ部の構造図を示す。第 1 9 図 B は、アルバム再生管理ファイル P b x x x x x x . m s f のヘッダ部以外の部分の構造図を示す。第 1 9 図 C は、アルバム再生管理 15 ファイル P b x x x x x x . m s f の付加情報データの構造図を示す。第 2 0 図は、A T R A C 3 データファイルの詳細なデータ構造図である。第 2 1 図は、A T R A C 3 データファイルを構成する属性ヘッダの上段のデータ構造図である。第 2 2 図は、A T R A C 3 データファイルを構成する属性ヘッダの中段のデータ構造図である。第 2 3 図は、録音モードの種類と各録音モードにおける録音時間等を示す表である。第 2 4 図 25 は、コピー制御状態を示す表である。第 2 5 図は、A T R A C 3 データ

ファイルを構成する属性ヘッダの下段のデータ構造図である。第26図は、ATRA C 3データファイルのデータブロックのヘッダのデータ構造図である。第27図は、アルバム・トラック名データベースファイルNamedb.msfの構造図である。第28図は、アルバム・トラック名データベースファイルNamedb.msfのブロックID部分を示す。第29図は、アルバム・トラック名データベースファイルNamedb.msfのネームレコード部分を示す。第30図は、再生時間管理データベースファイルPlaytime.msfの構造図である。第31図は、再生時間管理データベースファイルPlaytime.msfのブロックID部分を示す。第32図は、再生時間管理データベースファイルPlaytime.msfのTRKレコード部分を示す。第33図は、CD TOCデータベースファイルTocdb.msfの構造図である。第34図は、CD TOCデータベースファイルTocdb.msfのブロックID部分を示す。第35図は、CD TOCデータベースファイルTocdb.msfのALBUM TOCレコードを示す。第36図は、CD TOCデータベースファイルTocdb.msfのALBUM TOCレコードのTOC情報を示す。第37図は、この発明の一実施形態における音声入出力部の構成の一例を示すブロック図である。第38図は、この発明の一実施形態によるHD記録再生装置に格納されているアルバムの一例を示す。第39図は、第38図で示したアルバム8の詳細情報を示す。第40図は、アルバム名によるアルバム検索操作および処理を説明するためのフローチャートである。第41図は、アーティスト名によるトラック検索操作および処理を説明するためのフローチャートである。第42図は、検索結果をプレイリストに登録する登録操作および処理を説明するためのフローチャートである。

発明を実施するための最良の形態

以下、この発明の一実施形態について図面を参照しながら説明する。

第1図は、この発明の一実施形態によるダビング装置の構成の一例を示すブロック図である。第1図に示すように、この発明の一実施形態によるダビング装置は、システムコントローラ100、ディスク再生装置200、HD記録再生装置300、音声入出力部400および外部制御信号入出力部500から構成される。

ディスク再生装置200、HD記録再生装置300および音声入出力部400の間で送受信されるオーディオ信号は、例えばIEC60958のデジタルオーディオインターフェースに準拠したオーディオ信号である。但し、音声入出力部400は後述するアナログ入力端子を備えているため、音声入出力部400のアナログ入力端子にアナログ入力されたオーディオ信号は後述するADコンバータでデジタル変換され、LRクロック、ビットクロックに同期したシリアル信号がHD記録再生装置300に供給される。

第2図は、この発明の一実施形態によるシステムコントローラ100の構成の一例を示すブロック図である。第2図に示すように、システムコントローラ100は、コントローラ101、表示装置102および操作装置103から構成される。コントローラ101は、システム制御信号を用いてダビング装置に備えられた各ブロックを制御する。

表示装置102は、例えば液晶ディスプレイやFL管等で構成される表示装置である。この表示装置102は、コントローラ101に対して接続され、コントローラ101から供給される信号に基づき表示を行う。例えば、表示装置102は、コントローラ101から供給される信号に基づき、トラックナンバ、演奏時間などの情報を表示する。

操作装置103は、ダビング装置を操作するためのものであり、具体

的には、電源キー、再生キー、一時停止キー、停止キー、録音キー、シンクロ録音キー、プレイリスト登録キー、メニューキー、ジョグキーなどを備える。

電源キーは、ダビング装置の電源をオン／オフするためのものである。

- 5 再生キーは、ディスク再生装置 2 0 0 に装填された光ディスクあるいは
HD 記録再生装置に記録された音楽ファイルの再生を開始するためのもの
である。一時停止キーは、ディスク再生装置 2 0 0 に装填された光デ
ィスクあるいは HD 記録再生装置に記録されたファイルの録音／再生を
一時的に停止するためのものである。停止キーは、ディスク再生装置 2
10 0 0 に装填された光ディスクあるいは HD 記録再生装置に記録された音
楽ファイルの録音／再生を停止するためのものである。録音キーは、H
D 記録再生装置へのデータの録音を開始するためのキーである。

- シンクロ録音キーは、シンクロ録音を行うためのキーである。シンク
ロ録音とは、再生側に合わせて自動的に録音を始める／止める録音方法
15 である。具体的には、シンクロ録音キーを押すと、ディスク再生装置 2
0 0 の再生に同期して、HD 記録再生装置 3 0 0 の録音も開始される。
そして、ディスク再生装置 2 0 0 の再生が停止に同期して、HD 記録再
生装置 3 0 0 の録音も停止する。したがって、ユーザはディスク再生装
置 2 0 0 と HD 記録再生装置 3 0 0 とをそれぞれ操作せずに、ディスク
20 再生装置 2 0 0 で再生されたデータを、HD 記録再生装置 3 0 0 に簡単
に格納できる。メニューキーは、表示装置 1 0 2 に編集操作などのメニ
ューを表示するためのものである。プレイリスト登録キーは、プレイリ
ストへの曲の登録を開始するためのものである。

ジョグキーは、押圧可能であるとともに、回転可能な構造を有する。

- 25 具体的には、1 回転につき間欠的に例えば 1 0 回の停止位置があり、そ
の停止位置毎にデータが更新されるようになっている。例えば、右側に

回転させたとき、表示装置 1 0 2 において選択されている数値が＋更新され、左側に回転させたとき、表示装置 1 0 2 において選択されている数値が－更新されるようになっている。なお、このジョグキー操作のみで、再生、一時停止、停止、録音、シンクロ録音、メニュー選択などを行うことも可能である。

第 3 図は、この発明の一実施形態によるディスク再生装置 2 0 0 の構成の一例を示すブロック図である。このディスク再生装置 2 0 0 は、第 3 図に示すように、スピンドルモータ 2 0 1、光学ヘッド 2 0 2、R F (Radio Frequency) アンプ 2 0 3、サーボ回路 2 0 4、スレッド 2 0 5、E F M (Eight to Fourteen Modulation) および C I R C (Cross Interleave Reed-Solomon Code) デコード回路 2 0 6、コントローラ 2 0 7 から構成される。ここで、光ディスク D は、例えばコンパクトディスクである。

ディスク再生装置 2 0 0 に装着された光ディスク D は、C D 再生動作時には、スピンドルモータ 2 0 1 により、一定線速度 (Constant linear Velocity (C L V)) で回転駆動される。

光学ヘッド 2 0 2 は、光ディスク D の記録面にレーザ光を照射して反射光を受光することにより、光ディスク D にピット形態で記録されているデータを読み出し、R F アンプ 2 0 3 に供給する。なお、レーザ光強度は、図示しない A P C (Automatic Power Control) によって最適化される。この光学ヘッド 2 0 2 はトラッキング及びフォーカス方向に変位可能である。また、光学ヘッド 2 0 2 は、スレッド 2 0 5 より供給される信号に基づき、光ディスク D の半径方向に移動可能である。

R F アンプ 2 0 3 は、光学ヘッド 2 0 2 から供給された信号に基づき、再生 R F 信号、フォーカスエラー信号およびトラッキングエラー信号を生成する。そして、フォーカスエラー信号およびトラッキングエラー信

号をサーボ回路 204 に供給し、再生 R F 信号を E F M および C I R C デコード回路 206 に供給する。

サーボ回路 204 は、R F アンプ 203 から供給されるフォーカスエラー信号およびトラッキングエラー信号に基づき、フォーカス駆動信号、
5 トラッキング駆動信号、スレット駆動信号およびスピンドル駆動信号の各種駆動信号を生成する。これらの信号に基づき、スレッド 205 およびスピンドルモータ 201 の動作は制御される。

E F M および C I R C デコード回路 206 は、R F アンプから供給された再生 R F 信号を、2 値化し、E F M 信号を得る。そして、この E F
10 M 信号に対して、E F M 復調および C I R C デコードなどを行うことにより、光ディスクから読み出された情報を 16 ビット (Binary digit(bit)) 量子化、44.1 KHz サンプリングのデジタル形式にデコードし、音声入出力部 400 に供給する。ここで、C I R C デコードとは、C I R C を利用したエラー検出およびエラー訂正処理であり、具
15 体的には、C 1、C 2 符号によるエラー検出およびエラー訂正処理である。

また、E F M および C I R C デコード回路 206 は、R F アンプ 203 から供給された再生 R F 信号から、後述する T O C (Table of Contents) やサブコードなどの制御データを抽出し、これらの制御データ
20 をコントローラ 207 に供給する。

コントローラ 207 は、E F M および C I R C デコード回路 206 から供給される T O C やサブコードなどのデータに基づき、各部を制御する。また、コントローラ 207 は、例えば、T O C およびサブコードなどの制御データをシステムコントローラ 100 に送信する。さらに、コ
25 ントローラ 207 は、システムコントローラ 100 からシステム制御信号を受信し、このシステム制御信号に基づき、ディスク再生装置 200

に備えられた各部を制御する。

第4図は、第3図で示したEFMおよびCIRCデコード回路206で生成され、コントローラ207に供給されるデータのフレーム構成を示す。第4図に示すように、1フレームは、同期パターン部（24チャンネルビット）、サブコーディング部（1シンボル、すなわち14チャンネルビット）、第1のデータ部（12シンボル、すなわち12×14チャンネルビット）、第1のパリティ部（4シンボル、すなわち4×14チャンネルビット）、第2のデータ部（12シンボル、すなわち12×14チャンネルビット）、および第2のパリティ部（4シンボル、すなわち4×14チャンネルビット）からなる。ここでは、図示を省略するが、各シンボル（同期パターンも24ビットからなるシンボルとみなす）の結合のために、3ビットの結合ビットがフレーム内に含まれる。この結合ビットの総ビット数は、 $34 \times 3 = 102$ チャンネルビットである。したがって、1フレームは、合計で588チャンネルビットからなる。

第5図に示すように、98個のフレームがフレーム同期情報、サブコード情報、データおよびパリティ情報からなる1まとまりの情報（サブコードフレーム）を形成する。98個のフレーム内のサブコードデータが1ブロックとしてサブコード情報を表現する。このようなブロックについて第6図を参照して説明する。最初のフレームF1、2番目のフレームF2のサブコードは、それぞれ、固定の同期パターン $S0 = 0010000000001$ 、 $S1 = 000000000010010$ からなる。S0、S1としては、EFM変調において現れ得ないパターンが用いられており、これにより、再生時にサブコード情報に関するブロックの開始位置が特定される。

3番目のフレームF3、4番目のフレームF4、・・・、97番目の

フレームF 9 7、9 8番目のフレームF 9 8の9 6個のフレームのサブコードは、それぞれ、P 1, Q 1, R 1, S 1, T 1, U 1, V 1, W 1, P 2 ~ W 2、...、P 9 5 ~ W 9 5、P 9 6 ~ W 9 6からなる。そして、P 1, P 2, ..., P 9 6、Q 1, Q 2, ..., Q 9 6、
5 R 1 ~ R 9 6、S 1 ~ S 9 6、T 1 ~ T 9 6、U 1 ~ U 9 6、V 1 ~ V 9 6、W 1 ~ W 9 6が、それぞれ、完結した情報チャンネルを形成する。

これらのサブコーディング情報には、(1) 楽曲の頭出し、予め設定された順序に従って再生するなどのプログラム機能に係る情報、(2) テキスト情報などの付加情報などが含まれている。(1) の情報として
10 サブコードのPチャンネルおよびQチャンネルが用いられ、(2) の情報としてサブコードのRチャンネルからWチャンネルが用いられる。なお、Pチャンネルは、楽曲の間(p a u s e)を示しており、ラフな頭出しのい使用される情報である。Qチャンネルは、より詳細な制御のための情報である。

15 第7図は、Qデータの内容の一例を示す。第8図に示すように、Qデータは、コントロール部、アドレス部、データ部およびC.R.C (Cyclic Redundancy Code) 部からなる。

コントロール部は、Q 1 ~ Q 4 の4ビットからなり、オーディオのチャンネル数、エンファシスおよびデジタルデータなどの識別を行うための
20 データが記録されている。

アドレス部は、Q 5 ~ Q 8 の4ビットからなり、後述するデータ部内のデータのフォーマットや種類を示す制御信号が記録されている。

C.R.C部は、Q 8 1 ~ Q 9 6 の16ビットからなり、巡回符号のエラー検出を行うためのデータが記録されている。

25 データ部は、第8図に示すように、Q 9 ~ Q 8 0 までの72ビットのデータからなる。アドレス部の4ビットのデータが“0 0 0 1”である

場合には、光ディスクDのリードイン領域におけるデータ部（T O C
（Table of Contents））は、第9図に示す構造を有する。すなわち、
第9図に示すように、データ部は、M N R部（楽曲番号部）、P O I N
T部（ポイント部）、M I N部（経過時間分成分部）、S E C部（経過
5 時間秒成分部）、F R A M E部（経過時間フレーム番号部）、Z E R O
部（ゼロ部）、P M I N部（絶対時間分成分部）、P S E C部（絶対時
間秒成分部）およびP F R A M E部（絶対時間フレーム番号部）とから
なる。なお、これらの各部は、それぞれ、8ビットのデータからなるも
のである。

10 M N R部、M I N部、S E C部、F R A M E部およびZ E R O部は、
いずれも16進数表示で“00”に固定され、8ビット全てに“0”が
付与されてなる。

また、P M I N部は、P O I N T部が16進数表示で“A0”の場合
には、最初の楽曲番号あるいは楽章番号を示し、P O I N T部が16進
15 数で“A1”の場合には、最後の楽曲番号あるいは楽章番号を示す。ま
た、P O I N T部が16進数表示で“A2”の場合には、P M I N部
（絶対時間分成分部）、P S E C部（絶対時間秒成分部）およびP F R
A M E部（絶対時間フレーム番号部）は、それぞれ、リードアウト領域
が始まる絶対時間（P T I M E）を示す。

20 さらに、P O I N T部が、2ディジットのBCDで表現される場合に
は、P M I N部（絶対時間分成分部）、P S E C部（絶対時間秒成分
部）およびP F R A M E部（絶対時間フレーム番号部）は、それぞれ、
その数値で示される各曲あるいは楽章が始まるアドレスを絶対時間（P
T I M E）で表したものとなる。

25 ここでは、ディスク再生装置200が、一枚の光ディスクを装填可能
なディスク再生装置である場合を例として示したが、ディスク再生装置

200は、複数枚の光ディスクを装填可能なディスクチェンジャ型再生装置であってかまわない。

第9図は、この発明の一実施形態によるHD記録再生装置300の構成の一例を示すブロック図である。このHD記録再生装置300は、オーディオデータの記録再生およびオーディオデータを管理するためのデータなどを記録する装置である。

HD記録再生装置300は、第9図に示すように、デジタルオーディオインターフェース（以下、デジタルオーディオI/F）301、AD/D Aインターフェース（以下、AD/D A I/F）302、エンコード/デコード装置303、マジックゲートコア（Magic Gate Core）部304、共有RAM（Random Access Memory）305、HDコントローラ306、SDRAM（Synchronous Dynamic Random Access Memory）307、FAT（File Allocation Table）ファイルシステム308、HDD（Hard Disk Drive）309から構成される。

デジタルオーディオI/F301は、デジタルオーディオ信号用のインターフェースであり、ディスク再生装置200に備えられたEFMおよびCIRCデコード回路206あるいは音声入出力部400に備えられたデジタル入力端子（後述する）から供給されたデジタルオーディオ信号を、エンコード/デコード装置303に供給する。また、エンコード/デコード装置303から供給されたデジタル信号を、音声入出力部400に備えられたデジタル出力端子（後述する）に供給する。

AD/D A I/F302は、音声入出力部400に備えられたA/D変換部（後述する）から供給されたデジタルオーディオ信号を、エンコード/デコード装置303に供給する。また、エンコード/デコード装置303から供給されたデジタルオーディオ信号を、音声入出力部400に備えられたD Aコンバータ402に供給する。

エンコード／デコード装置 3 0 3 は、デジタルオーディオ I / F 3 0 1 あるいは A D / D A I / F 3 0 2 から供給されるデジタルオーディオ信号を、A T R A C 3 (Adaptive Transform Acoustic Cording 3) により圧縮し、マジックゲートコア部 3 0 4 に供給する。なお、データの圧縮方式は、A T R A C 3 に限られるものではなく、M P 3 (MPEG-1 audio layer 3)、WMA (Windows (登録商標) Media Audio)、AAC (Advanced Audio Cording)、あるいは T w i n V Q (Transform-domain Weighted Interleave Vector Quantization) などの圧縮方式を用いるようにしても構わない。

- 10 また、音声圧縮エンコード／デコード装置 3 0 3 は、マジックゲートコア部 3 0 4 から供給された A T R A C 3 で圧縮されたデータを伸長し、デジタルインターフェース 3 0 1 および／あるいは A D / D A I / F 3 0 2 に供給する。

マジックゲートコア部 3 0 4 は、エンコーダ／デコード装置 3 0 3 から供給されたオーディオデータを暗号化し、共有 R A M 3 0 5 に供給する。なお、マジックゲート (M A G I C G A T E) とは著作権保護を目的としたコンテンツ (音楽) の暗号化と機器間の相互承認をおこなう機能である。

共有 R A M 3 0 5 は、マジックゲートコア部 3 0 4 から供給されるデジタルオーディオデータを格納し、H D コントローラ 3 0 6 に供給する。また、共有 R A M 3 0 5 は、H D コントローラ 3 0 6 から供給されるデジタルオーディオデータを格納し、マジックゲートコア部 3 0 4 に供給する。

H D コントローラ 3 0 6 は、マイクロコンピュータであり、このマイクロコンピュータにより H D 記録再生装置 3 0 0 の各部は制御される。例えば、H D コントローラ 3 0 6 は、A T R A C 3 エンコード／デコー

ド装置 3 0 3 に対して、A T R A C 3 エンコード開始あるいは A T R A
C 3 デコード開始の制御を行う。また、H D コントローラ 3 0 6 は、M
A G I C G A T E C O R E 部 (5 - 4) に対して、暗号化開始ある
いは復号化開始の制御を行う。H D コントローラ 3 0 6 と H D D 3 0 9
5 とは、例えば A T A (A T Attachment) 準拠の I D E (Integrated
Device (Drive) Electronics) バスで接続され、このバスを介したデー
タの書き込みおよび読出しは、P I O (Programmable I / O) モードを使
ったデータ転送により行われる。

また、H D コントローラ 3 0 6 には、マジックゲートコア部 3 0 4 に
10 おいて 1 サウンドユニット (約 2 3 . 2 m s e c) の暗号化が終了する
ごとに、共有 R A M 3 0 5 からの割り込みが入る。H D コントローラ 3
0 6 は、この割り込みが入る毎に、共有 R A M 3 . 0 5 におかれたデータ
を S D R A M 3 0 7 に転送し、さらに F A T 3 2 ファイルシステム (3
0 8) を介して H D D 3 0 9 へ転送し、H D D 3 0 9 に音楽をファイル
15 として記録していく。

また、H D コントローラ 3 0 6 には、マジックゲートコア部 3 0 4 に
おいて 1 サウンドユニットの復号化が終了するごとに、共有 R A M 3 0
5 が H D コントローラ 3 0 6 に対して割り込みが入る。H D コントロー
ラ 3 0 6 は、その割込みごとに次のサウンドユニットを S D R A M 3 0
20 7 から共有 R A M に転送する。

S D R A M 3 0 7 は、H D D 3 0 9 あるいは共有 R A M 3 0 5 から供
給されたオーディオデジタルデータを格納する。

F A T 3 2 ファイルシステム 3 0 8 は、H D コントローラ 3 0 6 が H
D D 3 0 9 からデータの読出しおよび、H D D 3 0 9 へのデータの書き
25 込みをおこなう際に用いられるファイルシステムであり、H D D 3 0 9
に書かれたデータをファイルごとに管理するために必要不可欠なもので

ある。ここでは、便宜上、F A T 3 2 ファイルシステム 3 0 8 をブロックにより示すが、このF A T 3 2 ファイルシステム 3 0 8 は、H D コントローラ 3 0 6 に組み込まれたソフトウェアであり、他のブロックに示すような物理的なものではない。なお、この発明の一実施形態においては、ファイルシステムとして、F A T 3 2 ファイルシステムを用いるが、
5 V F A T 3 2 ファイルシステムをファイルシステムとして用いてもかまわない。また、N T F S (N T File System)、H F S (Hierarchical File System) およびH F S P l u sなどをファイルシステムとして用いてもかまわない。

10 H D D 3 0 9 に記録されるデータは全て、F A T 3 2 ファイルシステム 3 0 8 が管理するファイルであり、後に説明するオーディオデータや音楽管理情報のためのデータベースもF A T 3 2 ファイルシステム 3 0 8 が管理するファイルである。F A T 3 2 ファイルシステム 3 0 8 には、ファイル操作に必要なファイルのオープン、クローズ、リード、ライト
15 などのシステムコールが備わっている。

H D D 3 0 9 は、オーディオデータなどを格納する。具体的には、H D D 3 0 9 は、アルバム番号管理ファイル、再生時間管理データベースファイル、アルバム・トラック名データベースファイル、T O C データベースファイル、アルバム再生管理ファイル、音楽ファイルおよびプレイリスト管理ファイルなどを格納する。なお、これらの各ファイルの詳細については、後述する。

第 1 0 図は、H D 記録再生装置 3 0 0 にオーディオデータを録音する処理を説明するためのフローチャートである。ここで、H D 記録再生装置 3 0 0 にオーディオデータを録音することは、H D コントローラ 3 0
25 6 がH D D 3 0 9 上にF A T 3 2 ファイルシステム 3 0 8 を用いてファイルを作成することである。

まず、HDコントローラ306は、FAT32ファイルシステム308を用いてHDD309上に新規ファイル作成をおこなう（ステップS1）。

次に、ATRAC3エンコード／デコード装置303が、HDコントローラ306の制御に基づき、デジタルオーディオI/F301あるいはAD/DA I/F302を介して、音声入出力部400から供給されるデジタルオーディオ信号を、ATRAC3圧縮コーディング技術を用いて高音質・高能率に圧縮し、マジックゲートコア部304に供給する（ステップS2）。

10 次に、マジックゲートコア部304が、HDコントローラ306の制御に基づき、ATRAC3圧縮されたオーディオデータを暗号化し、共有RAM305に供給する（ステップS3）。

次に、HDコントローラ306が、1サウンドユニットの暗号化が終了するたびに、共有RAM305におかれたデータをSDRAM307
15 に転送し（ステップS4）、さらにFAT32ファイルシステム308を介してHDD309へ転送し、HDD309にオーディオデータをファイルとして記録していく（ステップS5）。

なお、IEC60958のオーディオデータの録音を行なっていて、そのカテゴリがCDである場合には、HD記録再生装置300は、オーディオデータのCビット、Uビットを解析し、CDの曲番どおりに、HDD309に録音をすることが可能になっている。

第11図は、HD記録再生装置300にオーディオデータを録音する処理を説明するためのフローチャートである。ここで、HD記録再生装置300を用いてオーディオデータを再生することは、HDコントローラ306がHDD309上に記録されている音楽ファイルをオープンして、データを読み出すことである。

まず、HDコントローラ306は、FAT32ファイルシステム308を用いて再生したい希望のファイルをオープンし（ステップS11）、このオープンしたファイルをHDD309からSDRAM307に読み出す（ステップS12）。

- 5 次に、HDコントローラ306は、マジックゲートコア部304において1サウンドユニットの復号化が終了するごとに、SDRAM307から共有RAM305に1サウンドユニットを転送する（ステップS13）。

- 次に、マジックゲートコア部304が、共有RAM305を介して、
10 HDコントローラ306から供給されたオーディオデータを復号化し、エンコード／デコード装置303に供給する（ステップS14）。

- 次に、エンコード／デコード装置303が、マジックゲートコア部304から供給されたオーディオデータを伸張し、デジタルオーディオI/F301あるいはAD／DAI/F302を介して、音声入出力部4
15 00に供給する（ステップS15）。

- この発明の一実施形態によるHD記録再生装置300には、複数の音楽（トラック）をグループ化するための、アルバムと称する受け皿（ファイル）が、予め500個用意されている。さらに、このアルバムの他にも、HDD309に実際に記録されている任意のトラックを集めるこ
20 とが可能な、プレイリストと称する受け皿（ファイル）が、予め10個用意されている。アルバムとプレイリストの違いは、前者が、記録した音楽そのものを入れるための受け皿（ファイル）であるのに対して、後者は前者が保持している音楽（トラック）へのリンクが貼られているものであり、音楽ファイル実体そのものを保持する受け皿（ファイル）で
25 はない点にある。

一つのアルバム内に記録可能な音楽ファイル数は、400個（400

曲)である。このアルバム内でのトラック数の制限はプレイリストについても適用される。したがって、HD記録再生装置300には、最大20万曲(500アルバム×400トラック)での音楽を保持することができる。ただし、本発明が適用されるディスク再生装置200とHD記録再生装置300一体型のダビング装置では、快適な音楽再生と録音を保証するため最大2万曲という制限が設けられている。

第12図は、HDD309内に記憶されるファイルの構造を示す枝図面である。音楽ファイルと音楽ファイルを管理するデータベースファイルは、ルートディレクトリの下にHiFiというディレクトリの下に置かれる。HiFiディレクトリの下には、500個のアルバムの再生順を示す、アルバムプレイバックリストと称するアルバム番号管理ファイルPblist.msf(以下、単にPblistと表記する)(16kb)が格納されている。このPblistには、500個のアルバムそれぞれの再生管理ファイルのファイル番号が書かれている。同ディレクトリ内には、Pblistの他に、全てのアルバムとトラックのアルバム名・トラック名・アーティスト名をデータベース化したアルバム・トラック名データベースファイルNamedb.msf(以下、単にNamedbと表記する)、全てのトラックの再生時間をデータベース化した再生時間管理データベースファイルPlaytime.msf(以下、単にPlaytimeと表記する)、ディスク再生装置200とシンクロ録音をおこなうとき光ディスクのTOCを取得しておき、あとでCddb(Compact Disc Data Base)等のサービスを利用することで、各アルバム、各トラックに名前を付加できるようにするためのTOCデータベースファイルTocdb.msf(以下、Tocdbと表記する)が格納されている。また、HiFiディレクトリの下にあるAlbum000というディレクトリは500個のアルバムそれぞれに含まれ

る総トラック数、アルバム名、再生曲順番、アルバムハイライト等のデータが納めてあるプレイバックリストと称するアルバム再生管理ファイルP b 0 0 0 0 0 1 . m s f ~ P b 0 0 0 1 f 4 . m s f (以下、単にP b 0 0 0 0 0 0 と表記する) が格納されている。

- 5 H i F i ディレクトリの下にあるA l b u m 0 0 1 からA l b u m 1 0 0 の1 0 0 個のディレクトリは記録した音楽ファイルを格納するディレクトリである。音楽ファイルは最大で2万曲作成可能であるため、これら全ての音楽ファイルを同じディレクトリにおいておくとF A T 3 2 ファイルシステム3 0 8 がファイルの場所を検索するのに時間を多く必要とする。この時間を短縮するためには音楽ファイルを分散させて格納
- 10 するのが効果的である。このような理由により、記録した音楽ファイルはA l b u m 0 0 1 からA l b u m 1 0 0 までの1 0 0 個のディレクトリに分散させて保存してある。音楽ファイルはA 3 d x x x x x . m s a (以下、単にA 3 d x x x x x と表記する) というファイル名を有し、
- 15 1 ~ 最大の2 0 0 0 0 トラック目まで通し番号が付されている。

最後にH i F i ディレクトリの下にあるP l a y l i s t ディレクトリには、上述したプレイリスト機能を実現するためのプレイリスト管理ファイルP b 0 0 0 1 f 5 からP b 0 0 0 1 f e を格納するディレクトリである。

- 20 第1 3 図は、アルバム番号管理ファイルP b l i s t の構成を示し、第1 4 図A および第1 4 図B は、アルバム番号管理ファイルP b l i s t を構成するヘッダとそれ以外の部分をそれぞれ示す。アルバム番号管理ファイルP b l i s t は、1 クラスタ (1 ブロック = 1 6 K B) のサイズである。第1 4 図A に示すヘッダは、3 2 バイトから成る。第1 4
- 25 図B に示すヘッダ以外の部分には、アルバムの再生順番を管理するテーブルA l b - n n n およびヘッダ中の情報の一部が記録されている。こ

これらの異なる種類のデータ群のそれぞれの先頭は、再生管理ファイル内で所定の位置となるように規定されている。

アルバム番号管理ファイルは、第14図Aに示す（0 x 0 0 0 0）および（0 x 0 0 1 0）で表される先頭から32バイトがヘッダである。

- 5 なお、ファイル中で先頭から16バイト単位で区切られた単位をスロットと称する。ファイルの第1および第2のスロットに配されるヘッダには、下記の意味、機能、値を持つデータが先頭から順に配される。なお、Reservedと表記されているデータは、未定義のデータを表している。通常ヌル（0 x 0 0）が書かれるが、何が書かれていてもReservedのデータが無視される。将来のバージョンでは、変更がありうる。また、この部分への書き込みは禁止する。

BLKID-TL0（4バイト）

意味：BLOCKID FILE ID

機能：アルバム番号管理ファイルの先頭であることを識別するための

15 値

値：固定値＝“TL＝0”（例えば0 x 5 4 4 C 2 D 3 0）

REVISION（4バイト）

意味：Playlistの書き換え回数

機能：アルバム番号管理ファイルを書き換える度にインクリメント

20 値：0より始まり+1ずつ増加する

TABLE（2バイト）

意味：TOTAL TRACK NUMBER

機能：総アルバム数

値：1から512（プレイリストを含む）データがない場合はオール

25 ゼロとすること

Alb-nnn

意味：再生するアルバムの S Q N（シーケンス）番号

機能：各アルバム再生管理ファイル P b x x x x x x . m s f のファイル番号を記述する

値：1 から 5 1 2

- 5 アルバムが存在しない時はオールゼロとすること

第 1 5 図は、アルバム再生管理ファイルの構成を示し、第 1 6 図が 1 F I L E（1 曲）の A T R A C 3 データファイルの構成を示す。アルバム再生管理ファイルは、1 6 K B 固定長のファイルである。A T R A C 3 データファイルは、曲単位でもって、先頭の属性ヘッダと、それに続く実際の暗号化されたオーディオデータとからなる。属性ヘッダも 1 6 K B 固定長とされ、アルバム再生管理ファイルと類似した構成を有する。

第 1 5 図に示すアルバム再生管理ファイルは、ヘッダ、1 バイト文字列アルバム名を格納する領域 N M 1 - S、2 バイト文字列アルバム名を格納する領域 N M 2 - S、曲順の再生テーブル T R K T B L、付加情報 I N F - S とからなる。第 1 6 図に示すデータファイルの先頭の属性ヘッダは、ヘッダ、1 バイトコードの曲名 N M 1、2 バイトコードの曲名 N M 2、トラックのキー情報等のトラック情報 T R K I N F、パーツ情報 P R T I N F と、トラックの付加情報 I N F とからなる。ヘッダには、総パーツ数、名前の属性、付加情報のサイズの情報等が含まれる。

20 属性ヘッダに対して A T R A C 3 のオーディオデータが続く。オーディオデータは、1 6 K B のブロック毎に区切られ、各ブロックの先頭にヘッダが付加されている。ヘッダには、暗号を復号するための初期値が含まれる。なお、暗号化の処理を受けるのは、A T R A C 3 データファイル中のオーディオデータのみであって、それ以外の再生管理ファイル、ヘッダ等のデータは、暗号化されない。

第 1 6 図を参照して、曲と A T R A C 3 データファイルの関係について

て説明する。1トラックは、1曲を意味する。1曲は、1つのA T R A
C 3 データファイル（第16図参照）で構成される。A T R A C 3 デー
タファイルは、A T R A C 3 により圧縮されたオーディオデータである。
H D D 3 0 9 に対しては、クラスタと呼ばれる単位で記録される。1ク
5 ラスタは、例えば16KBの容量である。1クラスタに複数のファイル
が混じることがない。

1曲は、基本的に1パーツで構成されるが、編集が行われると、複数
のパーツから1曲が構成されることがある。パーツは、録音開始からそ
の停止までの連続した時間内で記録されたデータの単位を意味し、通常
10 は、1トラックが1パーツで構成される。曲内のパーツのつながりは、
各曲の属性ヘッダ内のパーツ情報P R T I N Fで管理する。すなわち、
パーツサイズは、P R T I N Fの中のパーツサイズP R T S I Z Eとい
う4バイトのデータで表す。パーツサイズP R T S I Z Eの先頭の2バ
イトがパーツが持つクラスタの総数を示し、続く各1バイトが先頭およ
15 び末尾のクラスタ内の開始サウンドユニット（以下、S Uと略記する）
の位置、終了S Uの位置を示す。このようなパーツの記述方法を持つこ
とによって、オーディオデータを編集する際に通常、必要とされる大量
のオーディオデータの移動をなくすることが可能となる。ブロック単位の
編集に限定すれば、同様にオーディオデータの移動を回避できるが、ブ
20 ロック単位は、S U単位に比して編集単位が大きすぎる。

S Uは、パーツの最小単位であり、且つA T R A C 3 でオーディオデ
ータを圧縮する時の最小のデータ単位である。44.1kHzのサンプ
リング周波数で得られた1024サンプル分（1024×16ビット×
2チャンネル）のオーディオデータを約1/10に圧縮した数百バイト
25 のデータがS Uである。1S Uは、時間に換算して約23m秒になる。
通常は、数千に及ぶS Uによって1つのパーツが構成される。1クラス

タが42個のSUで構成される場合、1クラスタで約1秒の音を表すことができる。1つのトラックを構成するパーツの数は、付加情報サイズに影響される。パーツ数は、1ブロックの中からヘッダや曲名、付加情報データ等を除いた数で決まるために、付加情報が全く無い状態が最大
5 数（645個）のパーツを使用できる条件となる。

第17図Aは、CD等からのオーディオデータを2曲連続して記録する場合のファイル構成を示す。1曲目（ファイル1）が例えば5クラスタで構成される。1曲目と2曲目（ファイル2）の曲間では、1クラスタに二つのファイルが混在することが許されないので、次のクラスタの
10 最初からファイル2が作成される。従って、ファイル1に対応するパーツ1の終端（1曲目の終端）がクラスタの途中に位置し、クラスタの残りの部分には、データが存在しない。第2曲目（ファイル2）も同様に1パーツで構成される。ファイル1の場合では、パーツサイズが5、開始クラスタのSUが0、終了クラスタが4となる。

15 トラックの編集操作として、トラックのディバイド、トラックのコンバイン、トラックのイレース、トラックのムーブ、トラック名付加、トラックのアーティスト名付加の6種類の操作が規定される。ディバイドは、1つのトラックを2つに分割することである。ディバイドがされると、総トラック数が1つ増加する。ディバイドは、一つのファイルをフ
20 ァイルシステム上で分割して2つのファイルとし、再生管理ファイルおよびFATを更新する。コンバインは、2つのトラックを1つに統合することである。コンバインされると、総トラック数が1つ減少する。コンバインは、2つのファイルをファイルシステム上で統合して1つのファイルにし、再生管理ファイルおよびFATを更新する。イレースは、
25 トラックを消去することである。消された以降のトラック番号が1つ減少する。ムーブは、トラック順番を変えることである。以上イレースお

よびムーブ処理についても、再生管理ファイルおよびF A Tを更新する。トラック名付加は、トラックにトラック名を付けることである。トラックのアーティスト名の付加は、トラックにアーティスト名を付けることである。

- 5 第17図Aに示す二つの曲（ファイル1およびファイル2）をコンバインした結果を第17図Bに示す。コンバインされた結果は、1つのファイルであり、このファイルは、二つのパーツからなる。また、第17図Cは、一つの曲（ファイル1）をクラスタ2の途中でディバイドした結果を示す。ディバイドによって、クラスタ0、1およびクラスタ2の
10 前側からなるファイル1と、クラスタ2の後側とクラスタ3および4とからなるファイル2とが発生する。

- 上述したように、この一実施形態では、パーツに関する記述方法があるので、コンバインした結果である第17図Bにおいて、パーツ1の開始位置、パーツ1の終了位置、パーツ2の開始位置、パーツ2の終了位置をそれぞれS U単位でもって規定できる。その結果、コンバインした
15 結果のつなぎ目の隙間をつめるために、パーツ2のオーディオデータを移動する必要がない。また、パーツに関する記述方法があるので、ディバイドした結果である第17図Cにおいて、ファイル2の先頭の空きを詰めるように、データを移動する必要がない。

- 20 また、アルバムの編集操作として、アルバムのイレース、アルバムのムーブ、アルバム名付加、アルバムのアーティスト名付加などが規定されている。アルバムのイレースは、アルバムを消去することである。消された以降のアルバム番号が1つ減少する。アルバムのムーブは、アルバムの順番を変えることである。以上イレースおよびムーブ処理について
25 ても、アルバム番号管理ファイルおよびF A Tを更新する。アルバム名付加は、アルバムにアルバム名を付けることである。アルバムのアーテ

ィスト名の付加は、アルバムにアーティスト名を付けることである。

第18図は、アルバム再生管理ファイルのより詳細なデータ構成を示し、第19図Aおよび第19図Bは、アルバム再生管理ファイルを構成するヘッダとそれ以外の部分をそれぞれ示す。アルバム再生管理ファイルは、1クラスタ（1ブロック＝16KB）のサイズである。第19図Aに示すヘッダは、32バイトから成る。第12図Bに示すヘッダ以外の部分は、名前NM1-S（256バイト）、名前NM2-S（512バイト）、CONTENTSKEY、C_MAC[0]、S-YMDhmsと、再生順番を管理するテーブルTRKTBL（800バイト）、付加情報INF-S（14720バイト）および最後にヘッダ中の情報の一部が再度記録されている。これらの異なる種類のデータ群のそれぞれの先頭は、再生管理ファイル内で所定の位置となるように規定されている。

アルバム再生管理ファイルは、第19図Aに示す（0x0000）および（0x0010）で表される先頭から32バイトがヘッダである。なお、ファイル中で先頭から16バイト単位で区切られた単位をスロットと称する。ファイルの第1および第2のスロットに配されるヘッダには、下記の意味、機能、値を持つデータが先頭から順に配される。なお、Reservedと表記されているデータは、未定義のデータを表している。通常ヌル（0x00）が書かれるが、何が書かれていてもReservedのデータが無視される。将来のバージョンでは、変更がありうる。また、この部分への書き込みは禁止する。Optionと書かれた部分も使用しない場合は、全てReservedと同じ扱いとされる。

BLKID-TL0（4バイト）

25 意味：BLOCKID FILE ID

機能：再生管理ファイルの先頭であることを識別するための値

値：固定値＝“TL＝0”（例えば0x544C2D30）

MC ode（2バイト）

意味：MAKER CODE

機能：記録した機器の、メーカー、モデルを識別するコード

5 値：上位10ビット（メーカーコード） 下位6ビット（機種コード）

REVISION（4バイト）

意味：アルバム再生管理ファイルの書き換え回数

機能：アルバム再生管理ファイルを書き換える度にインクリメント

10 値：0より始まり+1ずつ増加する

SN1C+L（2バイト）

意味：NM1－S領域に書かれるアルバムのタイトル（1バイト）の属性を表す

機能：使用する文字コードと言語コードを各1バイトで表す

15 値：文字コード（C）は上位1バイトで下記のように文字を区別する

00：文字コードは設定しない。単なる2進数として扱うこと

01：ASCII(American Standard Code for Information Interchange)

02：ASCII+KANA 03：modified8859-1

81：MS-JIS 82：KS C 5601-1989 83：GB(Great Britain)2312-80

20 90：S-JIS(Japanese Industrial Standards)(for Voice)。

言語コード（L）は下位1バイトで下記のように EBU Tech 3258 規定に準じて言語を区別する

00：設定しない 08：German 09：English 0A：Spanish

0F：French 15：Italian 1D：Dutch

25 65：Korean 69：Japanese 75：Chinese

データが無い場合オールゼロとすること。

S N 2 C + L (2 バイト)

意味：NM 2 - S 領域に書かれるアルバムのタイトル (2 バイト) の属性を表す

機能：使用する文字コードと言語コードを各 1 バイトで表す

5 値：上述した S N 1 C + L と同一

S I N F S I Z E (2 バイト)

意味：I N F - S 領域に書かれる付加情報の全てのデータを合計したサイズを表す

機能：データサイズを 1 6 バイト単位の大きさを記述、無い場合は必ずオールゼロとすること

10 値：サイズは 0 x 0 0 0 1 から 0 x 3 9 C (9 2 4)

T - T R K (2 バイト)

意味：TOTAL TRACK NUMBER

機能：総トラック数

15 値：1 から 0 x 0 1 9 0 (最大 4 0 0 トラック)、データが無い場合はオールゼロとすること

上述したヘッダに続く領域に書かれるデータ (第 1 9 図 B) について以下に説明する。

N M 1 - S

20 意味：1 バイト文字列アルバム名を格納する領域

機能：1 バイトの文字コードで表した可変長の名前データ (最大で 2 5 6)

名前データの終了は、必ず終端コード (0 x 0 0) を書き込むこと
サイズはこの終端コードから計算すること、データの無い場合は少なくとも先頭 (0 x 0 0 2 0) からヌル (0 x 0 0) を 1 バイト以上記録すること

トラックが存在しない時はオールゼロとすること

INFS

意味：アルバム付加情報（例えばアーティスト名などの付加情報）

機能：ヘッダを伴った可変長の付加情報データ

- 5 複数の異なる付加情報が並べられることがある。それぞれにIDとデータサイズが付けられている。個々のヘッダを含む付加情報データは最小16バイト以上で4バイトの整数倍の単位で構成される。

その詳細については、後述する

値：付加情報データ構成を参照

10 SYMDhms (4バイト) (Option)

意味：信頼できる時計を持つ機器で記録した年・月・日・時・分・秒

機能：最終記録日時を識別するための値、EMDの時は必須

値：25～31ビット 年 0～99 (1980～2079)

21～24ビット 月 0～12

- 15 16～20ビット 日 0～31

11～15ビット 時 0～23

05～10ビット 分 0～59

00～04ビット 秒 0～29 (2秒単位)。

再生管理ファイルの最後のスロットとして、ヘッダ内のものと同一の

- 20 BLKID-TL0と、MCodeと、REVISIONとが書かれる。

民生用オーディオ機器として、メモリカードが記録中に抜かれたり、電源が切れることがあり、復活した時にこれらの異常の発生を検出することが必要とされる。上述したように、REVISIONをブロックの先頭と末尾に書き込み、この値を書き換える度に+1インクリメントするようになっている。若し、ブロックの途中で異常終了が発生すると、先頭と末尾のREVISIONの値が一致せず、異常終了を検出すること

25

ができる。REVISIONが2個存在するので、高い確率で異常終了を検出することができる。異常終了の検出時には、エラーメッセージの表示等の警告が発生する。

また、1ブロック（16KB）の先頭部分に固定値BLKID-TL
5 0を挿入しているので、FATが壊れた場合の修復の目安に固定値を使用できる。すなわち、各ブロックの先頭の固定値を見れば、ファイルの種類を判別することが可能である。しかも、この固定値BLKID-TL 0は、ブロックのヘッダおよびブロックの終端部分に二重に記述するので、その信頼性のチェックを行うことができる。なお、アルバム再生
10 管理ファイルの同一のものを二重に記録しても良い。

ATRAC3データファイルは、トラック情報管理ファイルと比較して、相当大きなデータ量であり、ATRAC3データファイルに関しては、後述するように、ブロック番号BLOCK SERIALが付けられている。但し、ATRAC3データファイルは、通常複数のファイル
15 がHDD309上に存在するので、CONNUM0でコンテンツの区別を付けた上で、BLOCK SERIALを付けないと、重複が発生し、FATが壊れた場合のファイルの復旧が困難となる。換言すると単一のATRAC3データファイルは、複数のBLOCKで構成されると共に、離散して配置される可能性があるので、同一ATRAC3データファイ
20 ルを構成するBLOCKを判別するためにCONNUM0を用いると共に、同一ATRAC3データファイル内の昇降順をブロック番号BLOCK SERIALで決定する。

同様に、FATの破壊までにはいたらないが、論理を間違ってファイルとして不都合のあるような場合に、書き込んだメーカーの機種が特定
25 できるように、メーカーコード(MCode)がブロックの先頭と末尾に記録されている。

第 1 9 図 C は、付加情報データの構成を示す。付加情報の先頭に下記のヘッダが書かれる。ヘッダ以降に可変長のデータが書かれる。

I N F

意味：FIELD ID

5 機能：付加情報データの先頭を示す固定値

値：0 x 6 9

I D

意味：付加情報キーコード

機能：付加情報の分類を示す

10 値：0 から 0 x F F

S I Z E

意味：個別の付加情報の大きさ

機能：データサイズは自由であるが、必ず 4 バイトの整数倍でなければならない。また、最小 1 6 バイト以上のこと。データの終わりよ

15 り余りができる場合はヌル (0 x 0 0) で埋めておくこと

値：1 6 から 1 4 7 8 4 (0 x 3 9 C 0)

M C o d e

意味：MAKER CODE

機能：記録した機器の、メーカー、モデルを識別するコード

20 値：上位 1 0 ビット (メーカーコード) 下位 6 ビット (機種コード)

C + L

意味：先頭から 1 2 バイト目からのデータ領域に書かれる文字の属性を表す

25 機能：使用する文字コードと言語コードを各 1 バイトで表す

値：前述の S N C + L と同じ

D A T A

意味：個別の付加情報データ

機能：可変長データで表す。実データの先頭は常に12バイト目より
始まり、長さ（サイズ）は最小4バイト以上、常に4バイトの整数
5 倍でなければならない。データの最後から余りがある場合はヌル

(0x00)で埋めること

値：内容により個別に定義される。

第20図は、1SUがNバイト（例えばN=384バイト）の場合の
A T R A C 3 データファイルA 3 D n n n n のデータ配列を示す。第2
10 0図には、データファイルの属性ヘッダ（1ブロック）と、オーディオ
データファイル（1ブロック）とが示されている。第20図では、この
2ブロック（16×2=32Kバイト）の各スロットの先頭のバイト
（0x0000～0x7FF0）が示されている。第21図に分離して
示すように、属性ヘッダの先頭から32バイトがヘッダであり、256
15 バイトが曲名領域NM1（256バイト）であり、512バイトが曲名
領域NM2（512バイト）である。属性ヘッダのヘッダには、下記の
データが書かれる。

B L K I D - H D 0 （4バイト）

意味：BLOCKID FILE ID

20 機能：A T R A C 3 データファイルの先頭であることを識別するた
めの値

値：固定値="HD=0"（例えば0x48442D30）

M C o d e （2バイト）

意味：MAKER CODE

25 機能：記録した機器の、メーカー、モデルを識別するコード

値：上位10ビット（メーカーコード） 下位6ビット（機種コー

ド)

BLOCK SERIAL (4バイト)

意味：トラック毎に付けられた連続番号

機能：ブロックの先頭は0から始まり次のブロックは+1ずつインク

5 リメント編集されても値を変化させない

値：0より始まり0 x F F F F F F F Fまで。

N1C+L (2バイト)

意味：トラック (曲名) データ (NM1) の属性を表す

機能：NM1に使用される文字コードと言語コードを各1バイトで表

10 す

値：SN1C+Lと同一

N2C+L (2バイト)

意味：トラック (曲名) データ (NM2) の属性を表す

機能：NM2に使用される文字コードと言語コードを各1バイトで表

15 す

値：SN1C+Lと同一

INFSIZE (2バイト)

意味：トラックに関する付加情報の全てを合計したサイズを表す

機能：データサイズを16バイト単位の大きさで記述、無い場合は必

20 ずオールゼロとすること

値：サイズは0 x 0 0 0 0から0 x 3 C 6 (9 6 6)

T-PRT (2バイト)

意味：トータルパーツ数

機能：トラックを構成するパーツ数を表す。通常は1

25 値：1から0 x 2 8 5 (6 4 5 dec)

T-SU (4バイト)

意味：トータル S U 数

機能：1トラック中の実際の総 S U 数を表す。曲の演奏時間に相当する

値：0 x 0 1 から 0 x 0 0 1 F F F F F

5 I N X (2 バイト) (O p t i o n)

意味：INDEX の相対場所

機能：曲のさびの部分（特徴的な部分）の先頭を示すポインタ。曲の先頭からの位置を S U の個数を 1 / 4 した数で指定する。これは、通常の S U の 4 倍の長さの時間（約 9 3 m 秒）に相当する

10 値：0 から 0 x F F F F （最大、約 6 0 8 4 秒）

X T (2 バイト) (O p t i o n)

意味：INDEX の再生時間

機能：I N X - n n n で指定された先頭から再生すべき時間の S U の個数を 1 / 4 した数で指定する。これは、通常の S U の 4 倍の長さの時間（約 9 3 m 秒）に相当する

15 時間（約 9 3 m 秒）に相当する

値：0 x 0 0 0 0 : 無設定 0 x 0 1 から 0 x F F F E （最大 6 0 8 4 秒） 0 x F F F F : 曲の終わりまで。

次に曲名領域 N M 1 および N M 2 について説明する。

N M 1

20 意味：曲名を表す文字列

機能：1 バイトの文字コードで表した可変長の曲名（最大で 2 5 6 ）

名前データの終了は、必ず終端コード（0 x 0 0 ）を書き込むこと

サイズはこの終端コードから計算すること、データの無い場合は少なくとも先頭（0 x 0 0 2 0 ）からヌル（0 x 0 0 ）を 1 バイト以上

25 記録すること

値：各種文字コード

NM 2

意味：曲名を表す文字列

機能：2バイトの文字コードで表した可変長の名前データ（最大で5

1 2) 名前データの終了は、必ず終端コード (0 x 0 0) を書き込

5 むことサイズはこの終端コードから計算すること、データの無い場合は少なくとも先頭（0 x 0 1 2 0）からヌル（0 x 0 0）を2バイト以上記録すること

値：各種文字コード。

属性ヘッダの固定位置（0 x 3 2 0）から始まる、80バイトのデータ10
をトラック情報領域TRKINFと呼び、主としてセキュリティ関係、
コピー制御関係の情報を一括して管理する。第22図にTRKINFの
部分を示す。TRKINF内のデータについて、配置順序に従って以下
に説明する。

CONTENTS KEY (8バイト)

15 意味：曲毎に用意された値で、M G (R) により保護されてから保存される。

機能：曲を再生する時、まず必要となる最初の鍵となる。M A C 計算時に使用される

[illegible]

20 C M A C [0] (8 バイト)

意味：著作権情報改ざんチェック値

WM

意味：Water Mark

機能：コンテンツのWater Mark状態を示す

25 A (1 バイト)

意味：パーツの属性

機能：パーツ内の圧縮モード等の情報を示す

値：第 2 3 図を参照して以下に説明する

ただし、 $N = 0, 1$ のモノラルは、 $\text{bit } 7$ が 1 でサブ信号を 0、メイン信号 ($L + R$) のみの特別な Joint モードをモノラルとして規定する。 $\text{bit } 2, 1$ の情報は通常の再生機は無視しても構わない。

A のビット 0 は、エンファシスのオン／オフの情報を形成し、ビット 1 は、再生 SKIP か、通常再生かの情報を形成し、ビット 2 は、データ区分、例えばオーディオデータか、FAX 等の他のデータかの情報を形成する。ビット 3 は、未定義である。ビット 4、5、6 を組み合わせることによって、図示のように、ATRAC3 のモード情報が規定される。すなわち、 N は、この 3 ビットで表されるモードの値であり、モノ ($N = 0, 1$)、LP ($N = 2$)、SP ($N = 4$)、EX ($N = 5$)、HQ ($N = 7$) の 5 種類のモードについて、記録時間、データ転送レート、1 ブロック内の SU 数がそれぞれ示されている。1 SU のバイト数は、(モノ：136 バイト、LP：192 バイト、SP：304 バイト、EX：384 バイト、HQ：512 バイト) である。さらに、ビット 7 によって、ATRAC3 のモード (0：Dual 1：Joint) が示される。

LT (1 バイト)

意味：再生制限フラグ (ビット 7 およびビット 6) とセキュリティバージョン (ビット 5 ～ ビット 0)

機能：このトラックに関して制限事項があることを表す

値：ビット 7： 0 = 制限なし 1 = 制限有り

ビット 6： 0 = 期限内 1 = 期限切れ

ビット 5 ～ ビット 0：セキュリティバージョン 0 (0 以外であれば再生禁止とする)

FN0 (2 バイト)

意味：ファイル番号

機能：最初に記録された時のトラック番号、且つこの値は、メモ리카ード内の隠し領域に記録されたMAC計算用の値の位置を特定する

値：1から0x190(400)

5 MG(D)SERIAL-*nnnn* (16バイト)

意味：記録機器のセキュリティブロック(セキュリティIC20)のシリアル番号

機能：記録機器ごとに全て異なる固有の値

値：0から0xFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF

10 CONNUM (4バイト)

意味：コンテンツ累積番号

機能：曲毎に累積されていく固有の値で記録機器のセキュリティブロックによって管理される。2の32乗、42億曲分用意されており、記録した曲の識別に使用する

15 値：0から0xFFFFFFFF。

YMDhms-S (4バイト) (Option)

意味：再生制限付きのトラックの再生開始日時

機能：EMDで指定する再生開始を許可する日時

値：上述した日時の表記と同じ

20 YMDhms-E (4バイト) (Option)

意味：再生制限付きのトラックの再生終了日時

機能：EMDで指定する再生許可を終了する日時

値：上述した日時の表記と同じ

MT (1バイト) (Option)

25 意味：再生許可回数の最大値

機能：EMDで指定される最大の再生回数

値：1 から 0 x F F 未使用の時は、0 x 0 0 L T の b i t 7 の値が
0 の場合は M T の値は 0 0 とすること

C T (1 バイト) (O p t i o n)

意味：再生回数

5 機能：再生許可された回数の内で、実際に再生できる回数。再生の度
にデクリメントする

値：0 x 0 0 ~ 0 x F F 未使用の時は、0 x 0 0 である L T の b i
t 7 が 1 で C T の値が 0 0 の場合は再生を禁止すること。

C C (1 バイト)

10 意味：COPY CONTROL

機能：コピー制御

値：第 2 4 図に示すように、ビット 6 および 7 によってコピー制御情
報を表し、ビット 4 および 5 によって高速デジタルコピーに関す
るコピー制御情報を表し、ビット 2 および 3 によってセキュリティ
15 ブロック認証レベルを表す。ビット 0 および 1 は、未定義

C C の例：(b i t 7, 6) 1 1 : 無制限のコピーを許可、0 1 : コ
ピー禁止、0 0 : 1 回のコピーを許可 (b i t 3, 2) 0 0 : アナ
ログないしデジタルインからの録音、M G 認証レベルは 0 とする
C D からのデジタル録音では (b i t 7, 6) は 0 0、(b i t
20 3, 2) は 0 0 となる

C N (1 バイト) (O p t i o n)

意味：高速デジタルコピー H S C M S (High speed Serial Copy
Management System) におけるコピー許可回数

機能：コピー 1 回か、コピーフリーかの区別を拡張し、回数で指定す
25 る。コピー第 1 世代の場合にのみ有効であり、コピーごとに減算す
る

値：00：コピー禁止、01から0xFE：回数、0xFF：回数無制限。

上述したトラック情報領域TRKINFに続いて、0x0370から始まる24バイトのデータをパーツ管理用のパーツ情報領域PRTINFと呼び、1つのトラックを複数のパーツで構成する場合に、時間軸の順番にPRTINFを並べていく。第25図にPRTINFの部分を示す。PRTINF内のデータについて、配置順序に従って以下に説明する。

PRTSIZE (4バイト)

10 意味：パーツサイズ

機能：パーツの大きさを表す。クラスタ：2バイト（最上位）、開始SU：1バイト（上位）、終了SU：1バイト（最下位）

値：クラスタ：1から0x1F40（8000）、開始SU：0から0xA0（160）、終了SU：0から0xA0（160）（但し、SUの数は、0、1、2、と0から開始する）

PRTKEY (8バイト)

意味：パーツを暗号化するための値

機能：初期値＝0、編集時は編集の規則に従うこと

値：0から0xFFFFFFFFFFFFFFFF

20 CONNUM0 (4バイト)

意味：最初に作られたコンテンツ累積番号キー

機能：コンテンツをユニークにするためのIDの役割

値：コンテンツ累積番号初期値キーと同じ値とされる。

ATRA C3データファイルの属性ヘッダ中には、第20図に示すように、付加情報INFが含まれる。この付加情報は、開始位置が固定化されていない点を除いて、再生管理ファイル中の付加情報INF-S

(第18図および第19図B参照) と同一である。1つまたは複数のパーツの最後のバイト部分(4バイト単位)の次を開始位置として付加情報 I N F のデータが開始する。

I N F

5 意味：トラックに関する付加情報データ

機能：ヘッダを伴った可変長の付加情報データ。複数の異なる付加情報が並べられることがある。それぞれに I D とデータサイズが付加されている。個々のヘッダを含む付加情報データは、最小16バイト以上で4バイトの整数倍の単位

10 値：再生管理ファイル中の付加情報 I N F - S と同じである。

上述した属性ヘッダに対して、A T R A C 3 データファイルの各ブロックのデータが続く。第26図に示すように、ブロック毎にヘッダが付加される。各ブロックのデータについて以下に説明する。

B L K I D - A 3 D (4バイト)

15 意味：BLOCKID FILE ID

機能：A T R A C 3 データの先頭であることを識別するための値

値：固定値 = “A 3 D” (例えば 0 x 4 1 3 3 4 4 2 0)

M C o d e (2バイト)

意味：MAKER CODE

20 機能：記録した機器の、メーカー、モデルを識別するコード

値：上位10ビット(メーカーコード) 下位6ビット(機種コード)

C O N N U M 0 (4バイト)

意味：最初に作られたコンテンツ累積番号

25 機能：コンテンツをユニークにするための I D の役割、編集されても値は変化させない

値：コンテンツ累積番号初期値キーと同じ値とされる

BLOCK SERIAL (4 バイト)

意味：トラック毎に付けられた連続番号

機能：ブロックの先頭は 0 から始まり次のブロックは + 1 ずつインク

5 リメント編集されても値を変化させない

値：0より始まり0 x F F F F F F F Fまで

BLOCK-SEED (8バイト)

意味： 1ブロックを暗号化するための1つの鍵

機能：ブロックの先頭は、記録機器のセキュリティブロックで乱数を生成、続くブロックは、+ 1 インクリメントされた値、この値が失われると、1 ブロックに相当する約 1 秒間、音が出せないために、ヘッダとブロック末尾に同じものが二重に書かれる。編集されても値を変化させない

値：初期は 8 バイトの乱数

15 I N I T I A L I Z A T I O N V E C T O R (8バイト)

意味：ブロック毎にA T R A C 3 データを暗号化、復号化する時に必要な初期値

機能：ブロックの先頭は 0 から始まり、次のブロックは最後の S U の最後の暗号化された 8 バイトの値。ディバイドされたブロックの途中からの場合は開始 S U の直前の最後の 8 バイトを用いる。編集されても値を変化させない

値： 0 から 0 x F F F F F F F F F F F F F F F F

S U - n n n

意味：サウンドユニットのデータ

25 機能：1024サンプルから圧縮されたデータ、圧縮モードにより出力されるバイト数が異なる。編集されても値を変化させない（一例

として、SPモードの時では、 $N = 384$ バイト)

値：ATRA C 3 のデータ値。

第20図では、 $N = 384$ であるので、1ブロックに42SUが書かれる。また、1ブロックの先頭の2つのスロット(4バイト)がヘッダ

5 とされ、最後の1スロット(2バイト)にBLKID-A3D、MC o
de、CONNUM0、BLOCK-SERIALが二重に書かれる。

従って、1ブロックの余りの領域Mバイトは、 $(16, 384 - 384 \times 42 - 16 \times 3 = 208$ (バイト)となる。この中に上述したように、8バイトのBLOCK SEEDが二重に記録される。

10 上述したアルバム番号管理ファイル、アルバム再生管理ファイル、音楽ファイルを用いて1~500のアルバムの再生順番、各アルバムに含まれる音楽(トラック)の再生順番、録音可能トラックの取得、各アルバムのアルバム名、各トラックのトラック名、アルバム/トラックそれぞれのアーティスト名、各アルバムの総演奏時間、各トラックの演奏時間
15 間を取得することが可能である。ところが、これらの情報は実際にHDD309に格納されたファイルをひとつずつオープンしてはリードして行く必要があり、システムとして快適な操作環境を得ることができない。そこで、上記の情報をデータベース化しておき、欲しい情報を素早く取得できるように、上述したファイルに加えてアルバム・トラック名データベースファイルNamedb、再生時間管理データベースファイルPlaytimeが、HiFiディレクトリの下に作成されている。以下
20 に、これらのファイルについて説明する。

第27図は、アルバム・トラック名データベースファイルNamedbの構成を示す。このNamedbは、Pblist、Pbx xxx x x x、A3d xxx x x xの名称フィールドNM1、NM2および、付加情報INF(アーティスト名称)に登録された名称(アルバム、曲名、アー
25

ディスト名称)を高速に検索するためのファイルであり、このファイルには、名称のみが記録されている。Name dbは、9個のアルバム名称ブロックと、323個の曲名称ブロック(1ブロック16kb)から構成される。

5 各ブロック(16kb)は、1つのBLKレコード(8バイト固定長)と、62個のネームレコード(264バイト固定長(62レコード))とから構成される。したがって、アルバム名称ブロックのネームレコードは、558(=62×9)記録可能であるが、この発明の一実施形態においては、510まで有効とし、以降は無効データ(0x00
10 固定)とする。また、曲名称ブロックのネームレコードは、200026(=323×62)記録可能であるが、この発明の一実施形態においては、20000まで有効とし、以降は無効データ(0x00固定)とする。ファイルサイズは、332ブロック×16384(16kb)=5439488バイト(5312kb)である。

15 第28図は、BLKレコードの構成を示す。BLK-ID(4バイト)は、アルバム名称ブロックでは、"ANMO"固定文字列であり、曲名称ブロックでは、"TNMO"固定文字列である。ブロックシリアル番号(4バイト)は1から通し番号とする。

第29図は、ネームレコードの構成を示す。レコードは、アルバムファイル番号の1～500の順、曲ファイル番号の1～20000の順で
20 記録される。なお、アルバム/曲ファイル番号が0のものは無効データとする。

第30図は、再生時間管理データベースファイルPlaytimeの構成を示す。このPlaytimeは、アルバム単位の総演奏時間を高速に求められるようにするためのファイルであり、このファイルには、
25 曲毎の演奏時間が記録されている。また後述のTOCデータベース内の

T O C 情報と関連付けるインデックスと T N O が記録されている。この P l a y t i m e は、15 ブロック (1 ブロック 16 k b) から構成される。

各ブロック (16 k b) は、1つの B L K レコード (8 バイト固定長)、1365 個の T R K レコード (12 バイト固定長 (1365))、予約レコード (4 バイト固定長 (0 x 0 0 固定)) から構成される。したがって、T R K レコードには、20475 (= 1365 × 15) 記録可能であるが、この発明の一実施形態においては、20000 まで有効とし、以降は無効データ (0 x 0 0 固定) とする。ファイルサイズは 15 ブロック × 16384 = 245760 バイト (240 k b) である。

第 31 図は、レコードのフォーマットのうち B L K レコード部分の構成を示す。B L K - I D は " T R K O " 固定文字列として、ブロックシリアル番号は 1 から通し番号とする。

第 32 図は、T R K レコードの構成を示す。レコードは曲ファイル番号の 1 ~ 20000 の順で記録する。ここで、アルバムファイル番号が 0 のものは無効データとする。なお、プレイリストのアルバムファイル番号は設定されないので、プレイリストの総演奏時間は、P b n n n n n n . M S F (n n n n n n n : 0 0 0 1 F 5 ~ 0 0 0 1 F E) 内の再生順ファイル番号から T R K レコードを求めることにより、算出される。

この発明の一実施形態によるダビング装置では、再生元であるディスク再生装置 200 から記録先である H D 記録再生装置 300 への同期録音 (シンクロ録音) が可能である。同期録音を開始する前に、H D 記録再生装置 300 はディスク再生装置 200 に対して、再生予定の C D の T O C データの送信を要求する。データの要求方法は第 1 図で示されるシステム制御信号の他に、I E C 60958 オーディオ信号を H D 記録再生装置 300 に入力し、H D 記録再生装置 300 のデジタルイン

ターフェース回路を用い、オーディオ信号のUビットに含まれる情報を解析する方法がある。再生元のCDのTOC情報をデータベースファイルに保管しておくことで、後にCDDB等のインターネット上のCD情報が取得可能なサイトに接続した際、HD記録再生装置300に記録されたアルバム・トラックに名前をつけられるようにする。この役目をするためのデータベースファイルがTocdbである。

第33図は、TOCデータベースファイルTocdbの構成を示す。このTOCデータベースファイルTocdbは、CDDBなどのインターネット上のサイトを利用して、HD記録再生装置300に記録されたアルバム、トラックに、アルバム名、トラック名を付けるためのファイルであり、このファイルには、具体的には、CDDBなどを検索するためのTOC情報が記録されている。なお、システムコントローラ100は、CDDBなどのインターネット上のサイトへ、外部制御信号入出力部500に接続された外部機器、例えばパソコンを介してのアクセスする。

ファイル名はTocdbであり、このファイルは、13ブロック（1ブロック16kb）から構成される。各ブロック（16kb）は、BLKレコード（8バイト固定長）、ALBUM TOCレコード（412バイト固定長（39レコード））、予約レコード（308バイト固定長（0x00固定））から構成される。ALBUM TOCレコードは507（ $= 39 \times 13$ ）記録可能であるが、この発明の一実施形態においては、500まで有効とし、以降は無効データ（0x00固定）とする。ファイルサイズは13ブロック \times 16384=212992バイト（208kb）である。

第34図は、ブロックレコードの構成を示す。BLK-IDは”TOC”固定文字列、ブロックシリアル番号は1から通し番号とする。ア

アルバム数はALBUM TOCレコード数（1～500）である。

第35図は、Album TOCレコードの構成を示す。第35図に示すように、Album TOCレコードは、TOC DB IDX、使用状態、TOC情報から構成される。

- 5 第36図は、TOC情報の詳細を示す。第36図に示すように、TOC情報は、~~Trk No.~~（1バイト）、~~AMIN~~（1バイト）、~~ASEC~~（1バイト）、AFRAME（1バイト）から構成される。Trk No. は、トラック番号であり、1から20000までの番号である。AMIN、ASEC、AFRAMEは、それぞれ、Trk No. に記
- 10 録されているトラック番号に該当するトラックの絶対時間分成分、絶対時間秒成分、絶対時間フレーム番号である。

- なお、TocdbのALBUM TOCレコードと、PlaytimeのTRKレコード部分（TOCDB IDX、TOC TNO）とは相互に関連がある。すなわち、Playtimeのトラック情報には、
- 15 トラックがTocdb内のどのTOCのTNOに対応しているかを知ることができるようになっていて。このため、オーディオファイルの編集、削除等が発生してもCddbから正しい曲名を取得できるようになっている。

- この発明の一実施形態によるHD記録再生装置300では、上述した
- 20 ように、編集操作ができるようになっている。編集操作には、曲（トラック）のディバイド、曲（トラック）のコンバイン、曲（トラック）のイレース、アルバムのイレース、曲のムーブ、アルバムのムーブ、アルバム名付加、アルバムのアーティスト名付加、曲（トラック）名付加、曲（トラック）のアーティスト名付加がある。これらの編集動作の後に
- 25 は、必ずTocdbを除くデータベースの更新を編集ごとにおこない、常に実体とデータベースに相違がでないように、これらのデータベース

は管理される。

第37図は、音声入出力部400の構造の一例を示すブロック図である。この音声入出力部400は、第37図に示すように、A/Dコンバータ401、DAコンバータ402、アナログ入力端子403、デジタル入力端子404、デジタル出力端子405およびアナログ出力端子406から構成される。

ADコンバータ401は、アナログ入力端子403から供給されるアナログ信号をLRクロック、ビットクロックに同期したシリアル信号に変換し、HD記録再生装置300に備えられたAD/D A I/F302に供給する。

DAコンバータ402は、ディスク再生装置200あるいはHD記録再生装置300から供給されるオーディオデータ、例えばIEC60958フォーマットのオーディオデータをDA変換し、アナログ出力端子406に供給する。なお、DAコンバータ402はオーディオデータを出力するだけでなく、ディスク再生装置200やHD記録再生装置300から指示があれば、オーディオデータの消音も行なう。

アナログ入力端子403は、アナログ信号を入力するための端子であり、このアナログ入力端子403に供給されたアナログ信号は、ADコンバータ401に供給される。

デジタル入力端子404は、デジタル信号を入力するための端子であり、このデジタル入力端子404に入力されたデジタル信号は、HD記録再生装置300に備えられたデジタルオーディオI/F301に供給される。

なお、これらHD記録再生装置300に入力されたオーディオ信号は、HD記録再生装置300が録音状態のときには、モニタ音として後述のアナログ出力端子406から出力される。

デジタル出力端子 4 0 5 は、H D 記録再生装置 3 0 0 に備えられたデジタルオーディオ I / F 3 0 1 から供給されたデジタルオーディオ信号を、外部機器などに出力するための端子である。

5 アナログ出力端子 4 0 6 は、D A コンバータ 4 0 2 から供給されたアナログ信号を、外部機器などに出力するための端子である。

外部制御信号入出力部 5 0 0 は、外部機器、例えばパーソナルコンピュータと、ダビング装置との間で通信を可能とするためのものであり、例えば、U S B (Universal Serial Bus) コネクタである。

次に、この発明の一実施形態によるダビング装置の検索操作について
10 説明する。ここでは、便宜上、H D 記録再生装置 3 0 0 に、第 3 8 図に示すように 1 から 8 のアルバムが納められている場合を例として検索操作について示す。

第 3 9 図は、第 3 8 図で示したアルバム 8 の詳細情報を示す。この第
3 9 図には、トラック番号、トラック名、アーティスト名、ハイライト
15 部分の時間が示されている。

第 4 0 図は、アルバム名によるアルバム検索操作および処理を説明するためのフローチャートである。ここでは、アルバム検索の例として、H D 記録再生装置 3 0 0 に格納されているアルバムの中から文字列

“P” をアルバム名に含むアルバムを検索し、このアルバムの各トラックのハイライト部分を再生する場合を示す。
20

まず、コントローラ 1 0 1 が操作装置 1 0 3 を介してユーザから検索開始要求を受けると、アルバム検索の選択をユーザに促す表示 “F o r A l b u m ?” を、表示装置 1 0 2 に表示する（ステップ S 1 0 1）。ここで、コントローラ 1 0 1 が、操作装置 1 0 3 に備えられた選択キー
25 が押圧されたと判断した場合には、トラック検索の選択をユーザに促す表示 “F o r T r a c k ?” を、表示装置 1 0 2 に表示する（ステッ

プS102)。

次に、コントローラ101が、ユーザによりアルバム検索が選択されたことを判断し、ユーザにアルバムのタイトル名検索の選択をユーザに促す“By Title?”を表示する(ステップS103)。ここで、
5 コントローラ101が、操作装置103に備えられた選択キーが押圧されたと判断した場合には、アーティスト名検索の選択をユーザに促す表示“By Artist?”を、表示装置102に表示する(ステップS104)。

次に、コントローラ101は、“By Title?”が表示されている状態で、確定キーが押圧されたことを判断し、キーワードの入力をユーザに促す表示“Keyword IN”を表示する(ステップS105)。

次に、ユーザが、表示装置102を閲覧しながら、操作装置103に備えられたジョグキーを適宜選択し、検索にマッチさせたいキーワード
15 “P”を入力し、確定キーを押圧する(ステップS106)。

次に、コントローラ101が、確定キーが押圧されたことを判断した場合には、HD記録再生装置300がHDD309に格納されているアルバム名・トラック名データベースファイルNamedbを参照し、ステップS106で入力されたキーワードを有するアルバムのタイトル名
20 を検索する(ステップS107)。

次に、コントローラ101が、検索結果“1/2”を表示装置102に表示するとともに、この検索結果に該当するアルバムに含まれるトラックのハイライト部分をトラック1より順次再生する(ステップS108)。ここで、コントローラ101が、選択キーが押圧されたと判断した場合には、検索結果“2/2”を表示装置102に表示するとともに、
25 この検索結果に該当するアルバムに含まれるトラックのハイライト部分

をトラック 1 より順次再生する（ステップ S 1 0 9）。なお、表示装置 1 0 2 における表示 “1 / 2” および “2 / 2” は、キーワードに該当するアルバムが 2 枚の場合の表示例である。

次に、コントローラ 1 0 1 が、検索結果 “1 / 2” が表示装置 1 0 2
5 に表示されている状態で、情報表示キーが押圧されたと判断した場合には、表示 “1 / 2” に該当するアルバム番号をユーザに知らせる表示

“A l b u m 2” を、表示装置 1 0 2 に表示する（ステップ S 1 1 0）。
ここで、選択キーが押圧されたと判断した場合には、表示 “2 / 2” に
該当するアルバム番号をユーザに知らせる表示 “A l b u m 3” を、表
10 示装置 1 0 2 に表示する（ステップ S 1 1 1）

次に、コントローラ 1 0 1 が、“A l b u m 2” が表示装置 1 0 2 で
表示されている状態において、情報表示キーが押圧されたと判断した場
合には、“A l b u m 2” に該当するアルバム名をユーザに知らせる表
示 “P o r n o g r a f f i t t i” を、表示装置 1 0 2 に表示する
15 （ステップ S 1 1 2）。ここで、コントローラ 1 0 1 が、選択キーが押
圧されたと判断した場合には、“A l b u m 3” に該当するアルバム名
をユーザに知らせる表示 “M a s t e r o f P u p p e t s” を、
表示装置 1 0 2 に表示する（ステップ S 1 1 3）。

所望のアルバムのアルバム名が “M a s t e r o f P u p p e t
20 s” であった場合には、ステップ S 1 1 3 において、検索終了キーを押
圧することにより、このアルバムが先頭トラックから自動的に順次再生
される。

なお、検索された各アルバムのハイライト再生は一つのアルバムの各
トラックのハイライト部分の再生が終了したら、そのアルバムの先頭の
25 トラックのハイライト部分から再生を繰り返すようになっている。すな
わち、ユーザの操作なしに次の検索結果アルバムのハイライト再生を行

わないようにしている。

上述した例では、アルバム名が表示装置 1 0 2 に表示されている状態において、検索終了キーを押すと、このアルバム名に該当するアルバムが先頭トラックから再生される例を示したが、アルバム番号が表示装置
5 1 0 2 に表示されている状態において、検索終了キーを押すと、このアルバム名に該当するアルバムが先頭トラックから再生されるようにしてもかまわない。

また、検索結果 “1 / 2” あるいは “2 / 2” が表示されている状態において、検索終了キーを押すと、この検索結果 “1 / 2” あるいは
10 “2 / 2” に該当するアルバムが先頭トラックから再生されるようにしてもかまわない。

第 4 1 図は、アーティスト名によるトラック検索操作および処理を説明するためのフローチャートである。ここでは、トラック検索の例として、HD 記録再生装置 3 0 0 に格納されているトラックの中から文字列
15 “W e a t h e” を含むトラックを検索し、このトラックを再生する場合を示す。

まず、コントローラ 1 0 1 が操作装置 1 0 3 を介してユーザから検索開始要求を受けると、アルバム検索の選択をユーザに促す表示 “F o r
A l b u m ?” を、表示装置 1 0 2 に表示する（ステップ S 2 0 1）。
20 次に、コントローラ 1 0 1 が、操作装置 1 0 3 に備えられた選択キーが押圧されたと判断し、トラック検索の選択をユーザに促す表示 “F o
r T r a c k ?” を、表示装置 1 0 2 に表示する（ステップ S 2 0 2）。

次に、コントローラ 1 0 1 は、ユーザによりトラック検索が選択されたことを判断し、トラックのタイトル名検索の選択をユーザに促す表示
25 “B y T i t l e ?” を、表示装置 1 0 2 に表示する（ステップ S 2

03)。

次に、コントローラ101が、操作装置103に備えられた選択キーが押圧されたと判断し、トラックのアーティスト名検索の選択をユーザに促す表示“By Artist?”を、表示装置102に表示する
5 (ステップS204)。

次に、コントローラ101は、“By Artist?”が表示されている状態で、確定キーが押圧されたことを判断し、キーワードの入力をユーザに促す表示“Keyword IN”を表示する(ステップ205)。

10 次に、ユーザが、表示装置102を閲覧しながら、操作装置103に備えられたジョグキーを適宜選択し、検索にマッチさせたいキーワード“Weather”を入力し、確定キーを押圧する(ステップ206)。

次に、コントローラ101が、確定キーが押圧されたことを判断した場合には、HD記録再生装置300がHDD309に格納されているアルバム名・トラック名データベースファイルNamedbを参照し、
15 ステップS206で入力されたキーワードを有するトラックを検索する(ステップS207)。

次に、コントローラ101が、検索結果“1/7”を表示装置102に表示するとともに、この検索結果に該当するトラックを再生する(ステップS208)。
20 ここで、コントローラ101が、選択キーが押圧されたと判断した場合には、検索結果“2/7”を表示装置102に表示するとともに、この検索結果に該当するトラックを再生する(ステップS209)。なお、表示装置102における表示“1/7”および“2/7”は、キーワードに該当するトラックが7つの場合の表示例である。

25 次に、コントローラ101が、検索結果“1/7”が表示装置102に表示されている状態で、情報表示キーが押圧されたと判断した場合に

は、表示“1 / 7”に該当するトラック名をユーザに知らせる表示“Black Market”を、表示装置102に表示する（ステップS210）。ここで、選択キーが押圧されたと判断した場合には、表示“2 / 7”に該当するトラック名をユーザに知らせる表示“Teen Town”を、表示装置102に表示する（ステップS210）

次に、コントローラ101が、“Black Market”が表示装置102で表示されている状態において、情報表示キーが押圧されたと判断した場合には、“Black Market”に該当するアルバム番号およびトラック番号をユーザに知らせる表示“Album 8 Track 1”を、表示装置102に表示する（ステップS212）。ここで、コントローラ101が、選択キーが押圧されたと判断した場合には、“Teen Town”に該当するアルバム番号およびトラック番号をユーザに知らせる表示“Album 8 Track 2”を、表示装置102に表示する（ステップS213）。

15 所望のアルバムのアルバム名が“Album 8 Track 2”であった場合には、ステップS213において、検索終了キーを押圧し、検索の操作および処理を終了する。なお、検索終了キーが押圧されても、トラックの再生は維持される。

20 上述した例では、アルバム番号およびトラック番号が表示装置102に表示されている状態において、検索終了キーを押すと、このアルバム番号およびトラック番号に該当するトラックが再生される例を示したが、トラック名が表示装置102に表示されている状態において、検索終了キーを押すと、このトラック名に該当するトラックが再生されるようにしてもかまわない。

25 また、検索結果“1 / 7”、・・・、“7 / 7”が表示されている状態において、検索終了キーを押すと、この検索結果“1 / 7”、・・・、

“ 7 / 7 ” に該当するトラックが再生されるようにしてもかまわない。

第 4 2 図は、検索結果をプレイリストに登録する登録操作および処理を説明するためのフローチャートである。ここでは、例として、文字列

“ i t ” を含むアルバム名を有するアルバムを検索し、この検索結果に
5 含まれるアルバムのうちの 1 枚をプレイリストに登録する例について示す。なお、キーワード入力までの検索操作および処理は、第 4 0 図および第 4 1 図に示した場合と略同様であるので、説明を省略する。

まず、ユーザが、表示装置 1 0 2 を閲覧しながら、操作装置 1 0 3 に
備えられたジョグキーを適宜選択し、検索にマッチさせたいキーワード
10 “ i t ” を入力し、確定キーを押圧する（ステップ 3 0 1）。

次に、コントローラ 1 0 1 が、確定キーが押圧されたことを判断した場合
には、H D 記録再生装置 3 0 0 が H D D 3 0 9 に格納されているア
ルバム名・トラック名データベースファイル N a m e d b を参照し、ス
テップ S 3 0 1 で入力されたキーワードを有するアルバムのタイトル名
15 を検索する（ステップ S 3 0 2）。

次に、コントローラ 1 0 1 が、検索結果 “ 1 / 2 ” を表示装置 1 0 2
に表示するとともに、この検索結果に該当するトラックを再生する（ス
テップ S 3 0 3）。ここで、コントローラ 1 0 1 が、選択キーが押圧さ
れたと判断した場合には、検索結果 “ 2 / 2 ” を表示装置 1 0 2 に表示
20 するとともに、この検索結果に該当するトラックを再生する（ステップ
S 2 0 9）。

次に、コントローラ 1 0 1 が、検索結果 “ 1 / 2 ” が表示装置 1 0 2
に表示されている状態で、情報表示キーが押圧されたと判断した場合には、
表示 “ 1 / 2 ” に該当するアルバム名をユーザに知らせる表示 “ A
25 l b u m 2 ” を、表示装置 1 0 2 に表示する（ステップ S 3 0 4）。こ
こで、選択キーが押圧されたと判断した場合には、表示 “ 2 / 2 ” に該

当するトラック名をユーザに知らせる表示 “A l b u m 5” を、表示装置 1 0 2 に表示する（ステップ S 3 0 6）

次に、コントローラ 1 0 1 が、“A l b u m 2” が表示装置 1 0 2 で表示されている状態において、情報表示キーが押圧されたと判断した場合には、
5 “A l b u m 2” に該当するアルバム名をユーザに知らせる表示 “P o r n o g a f f i t t i” を、表示装置 1 0 2 に表示する（ステップ S 3 0 7）。ここで、コントローラ 1 0 1 が、選択キーが押圧されたと判断した場合には、“A l b u m 5” に該当するアルバム名をユーザに知らせる表示 “A d a y w i t h o u t R a i n” を、表
10 示装置 1 0 2 に表示する（ステップ S 3 0 8）。

次に、コントローラ 1 0 1 が、“A d a y w i t h o u t R a i n” が表示装置 1 0 2 で表示されている状態において、プレイリスト登録キーが押圧されたと判断した場合には、プレイリスト 5 0 1（アルバム番号 5 0 1）に検索結果を登録するか否かをユーザに促す表示 “P.
15 L i s t 5 0 1 ?” を、表示装置 1 0 2 に表示する（ステップ S 3 0 9）。

次に、コントローラ 1 0 1 が、選択キーを押圧されたことを判断し、プレイリスト 5 0 2（アルバム番号 5 0 2）に登録結果を登録するか否かをユーザに促す表示 “P. L i s t 5 0 2” を表示する。なお、こ
20 の発明の一実施形態によるダビング装置においては、ユーザは、検索結果の登録先プレイリストを、プレイリスト 5 1 0（アルバム番号 5 1 0）からプレイリスト 5 0 2（アルバム番号 5 0 2）から選択することができる。

次に、コントローラ 1 0 1 が、“P. L i s t 5 0 2” が表示装置
25 1 0 2 で表示されている状態において、情報表示キーが押圧されたと判断した場合には、アルバム名 “A d a y w i t h o u t R a i

n”に該当するアルバムに含まれる全トラックを、プレイリスト502に登録するとともに、検索結果のプレイリストへの登録が終了したことをユーザに知らせる表示“Complete!!”を、表示装置102に表示する（ステップS311）。

- 5 次に、コントローラ101が、操作装置103において表示結果画面
に戻るための操作が行われたことを判断し、表示装置102に検索“2
／2”を、表示装置102に表示するとともに、この検索結果に該当す
るトラックを再生する（ステップS312）。

- 次に、コントローラ101が、選択キーが押圧されたことを判断した
10 場合には、検索結果“1／2”を表示装置102に表示するとともに、
この検索結果に該当するトラックを再生する（ステップS313）。

- 次に、コントローラ101が、検索結果“1／2”が表示装置102
で表示されている状態において、プレイリスト登録キーが押圧されたと
判断し、プレイリスト501（アルバム番号501）に検索結果“1／
15 2”に登録するか否かをユーザに促す表示“P. List 501?”
を、表示装置102に表示する（ステップS314）。

- 次に、プレイリスト509（アルバム番号509）を表示装置102
に表示するための選択キー操作がなされたと判断し、プレイリスト50
9（アルバム番号509）に登録するか否かをユーザに促す表示“P.
20 List 509?”を表示する（ステップS315）。

- 次に、コントローラ101が、“P. List 509?”が表示装
置102で表示されている状態において、情報表示キーが押圧されたこ
とを判断し、検索結果“1／2”に該当するアルバムに含まれる全トラ
ックを、プレイリスト509に登録するとともに、検索結果のプレイリ
25 ストへの登録が終了したことをユーザに知らせる表示“Complete
e!!”を、表示装置102に表示する（ステップS316）。なお、

検索状態を抜け出すには、検索終了キーを押圧する。

尚上記ハイライト部分は曲のクライマックスであったり映画などのビデオ信号の場合にはストーリーのクライマックスシーンであったりとユーザにとって一部分を視聴することで全体を把握できる部分であり、ダイジェストとも呼ばれている。

上述したように、この発明の一実施形態によれば、ユーザはハードディスクに収められた大量のトラック／アルバムの中から、簡単に目的のトラック／アルバムを探しだすことができるため、従来、ユーザがトラック／アルバムの管理に要していた負担を大幅に低減することができる。

10 また、検索を高速化するためのデータベースをHDD 309内に収納しているため、大量のトラック／アルバムがハードディスク内に収めてある場合でも、検索中の待ち時間を短縮することができる。したがって、ユーザに快適な操作環境を提供することができる。

また、検索の対象がアルバムであるのか、トラックであるのか、あるいは検索に用いるキーワードがアルバム名／トラック名なのか、アーティスト名なのかを選択できるため、アルバム、トラックの特定を速やかに行うことができる。

また、オーディオ機器であることを特徴とした検索結果の再生をおこなうことが可能である。すなわち、ユーザは表示装置 102 に表示されるデータ以外に、音楽を聴取することで検索結果の特定をすることが可能である。よって、音楽を確認しながら、検索結果を閲覧することで、ユーザが検索対象の間違えてしまう人為的ミスを低減することが可能である。また、このようなことを行なえる理由には、ハードディスクオーディオ特有な、曲の頭だしが高速におこなえるという利点を利用している。

20

25

また、本発明が提供する検索機能における検索結果の閲覧および再生

機能は、検索の対象がアルバム検索である場合には、キーワードにより特定されたアルバム内に含まれる全てのトラックのハイライト部分を続けて再生できるため、すなわち、アルバムのハイライト部分のダイジェストを聞く事ができるため、キーワードにより特定されたアルバムの中
5 身全てを聞かずに、所望のアルバムを特定できる。

また、本発明が提供する検索機能は、検索されたアルバム／トラックをただ単に再生するだけではなく、検索されたアルバム／トラックをお気に入りの曲だけを集めたプレイリストアルバムに、簡単に登録することができる。

10 また、本発明が提供する検索機能のプレイリスト登録機能は、検索対象がアルバムであった場合、アルバム内に含まれている全ての曲をまとめてプレイリストに登録できるため、ユーザが1曲ずつ順番に登録する手間を省くことが可能である。

また、本発明が提供する検索機能は、検索状態を抜けない限り、検索
15 の内容を保持しているため、検索結果が複数合った場合、その一つをプレイリストに登録した後などでも、続けて次の検索結果をプレイリストに登録することができる。

以上、この発明の実施形態について具体的に説明したが、この発明は、上述の実施形態に限定されるものではなく、この発明の技術的思想に基づ
20 づく各種の変形が可能である。

また、上述した一実施形態においては、光ディスクがCDの場合を例として示したが、光ディスクは、DVD (Digital Versatile Disc) などであってかまわない。

また、上述した一実施形態においては、音楽データを、HD記録再生
25 装置300に格納する例について示したが、映像データおよび音声データなどをHD記録再生装置300に格納するようにしてもかまわない。

また、上述した一実施形態においては、ダビング装置が、光ディスクを再生する再生装置を備える例について示したが、これ以外の記録媒体を再生する再生装置であつてもかまわない。例えば、再生装置が、音楽テープ、ビデオテープ、D A T (Digital Audio Tape) などの磁気テープを再生する再生装置、あるいは、Z i pなどの磁気ディスクを再生する再生装置であつてもかまわない。さらには、不揮発性メモリを再生する再生装置であつてもかまわない。

また、曲名を検索する際に複数の曲がヒットした場合には、候補として挙げた先頭の曲のハイライト部分の再生を行った後に、次にヒットした曲のハイライト部分の再生を行い、以降順次ヒットした曲のハイライト部分を順次再生するようにしてもよい。

そして、ヒットした曲の最終曲のハイライト部分の再生をおこなったら再度先頭曲のハイライト部分の再生に戻りループ再生を行ってもよい。

上記ハイライト部分の再生中に選曲確定キーの操作がなされた場合には選択された曲の冒頭部分から再生を開始するようにしてもかまわない。

また、アルバム名の検索に際しても複数のアルバムが候補として挙げた場合には、候補として挙げたアルバムの代表曲のハイライト部分を一度再生した後に、次に候補として挙げたアルバムの代表曲のハイライト部分を再生し、以降順次ヒットしたアルバムの代表曲のハイライト部分を再生するようにしてもよい。

そして、ヒットしたアルバムの最終アルバムの代表曲のハイライト部分の再生をおこなったら、再度先頭アルバムの代表曲のハイライト部分の再生に戻りループ再生を行ってもよい。

尚上記ハイライト部分は曲のクライマックスであつたり映画などのビデオ信号の場合にはストーリーのクライマックスシーンであつたりとユーザにとって一部分を視聴することで全体を把握できる部分であり、ダ

イジェストとも呼ばれている。

以上説明したように、この発明によれば、ユーザは記録媒体に記録された複数のプログラムから、所望のプログラムを容易に検索できるため、従来、ユーザがプログラムの管理に要していた負担を大幅に低減すること

5 とができる。

ユーザは検索結果のプログラムに関する情報を閲覧できるばかりではなく、検索結果を再生することができるため、ユーザは、直感的に所望のプログラムを検索できる。また、ユーザが検索したいアルバムのアルバム名やトラックのトラック名を知らない場合にも、検索を容易に行う

10 とができる。

請 求 の 範 囲

1. 複数のプログラムが記録されたプログラム領域と上記プログラム領域に記録された複数のプログラムが集合化されて管理されるとともに上記集合化されたグループに対するグループ名と上記グループに属するプログラムに対応するプログラム名が管理され、更に上記集合化されたグループに属する代表プログラムのハイライト部分と上記各プログラムのハイライト部分が管理される管理領域とを備えてなる記録媒体に収録された所望のプログラム／グループを検索する検索装置は、
- 5 検索したい所望のプログラム名／グループ名の一部若しくは全部を入力する入力手段と、
- 10 上記入力手段にて入力されたプログラム名／グループ名の一部若しくは全部と上記記録媒体の管理領域に管理されているプログラム名／グループ名を比較する比較手段と、
- 上記比較手段の比較結果に基づいて上記検索したい所望のプログラム
- 15 /グループの候補リストを表示する表示手段と、
- 上記表示手段に候補リストを表示するとともに上記表示された候補リストに対応する所望のプログラム／グループのハイライト部分を再生する制御手段と
- を備えてなる検索装置。
- 20 2. 上記候補リストに対応するプログラム／グループが複数存在する場合には、上記制御手段は順次候補リストに属するプログラム／グループのハイライト部分を再生することを特徴とする請求の範囲 1 に記載の検索装置。
3. 上記制御手段は候補リストの先頭のプログラム／グループのハイラ
- 25 イト部分を繰返し再生するとともに、上記繰返し再生を行っている最中に確定指示がなされた場合には確定指示がなされたプログラム／グルー

プの先頭から再生を開始することを特徴とする請求の範囲 1 に記載の検索装置。

4. 上記候補リストに対応するプログラム／グループが複数存在する場合には、上記制御手段は候補リストの先頭のプログラム／グループのハ

5 イライト部分を繰返し再生するとともに、上記繰返し再生を行っている

最中に次プログラム/次グループ選択指示がなされた場合には次プログ

ラム／次グループのハイライト部分の繰返し再生を開始することを特徴とする請求の範囲 1 に記載の検索装置。

5. 上記プログラム／グループのハイライト部分を再生中に、上記プロ

10 グラム／グループをプレイリストファイルに登録する要求がなされた場合には、上記プログラム／グループをプレイリストファイルに登録する登録手段を備えることを特徴とする請求の範囲 1 に記載の検索装置。

6. 複数のプログラムが記録されたプログラム領域と上記プログラム領域に記録された複数のプログラムが集合化されて管理されるとともに上

15 記集合化されたグループに対するグループ名と上記グループに属するプログラムに対応するプログラム名が管理され、更に上記集合化されたグループに属する代表プログラムのハイライト部分と上記各プログラムのハイライト部分が管理される管理領域とを備えてなる記録媒体に収録された所望のプログラム／グループを検索する検索方法は、入力されたプ

20 ログラム名／グループ名の一部若しくは全部と上記記録媒体の管理領域に管理されているプログラム名／グループ名を比較する比較工程と、上記比較工程の比較結果に基づいて上記検索したい所望のプログラム／グループの候補リストを表示する表示工程と、上記表示された候補リストに対応する所望のプログラム／グループのハイライト部分を再生する制御工程とを備えてなる検索方法。

7. 上記候補リストに対応するプログラム／グループが複数存在する場

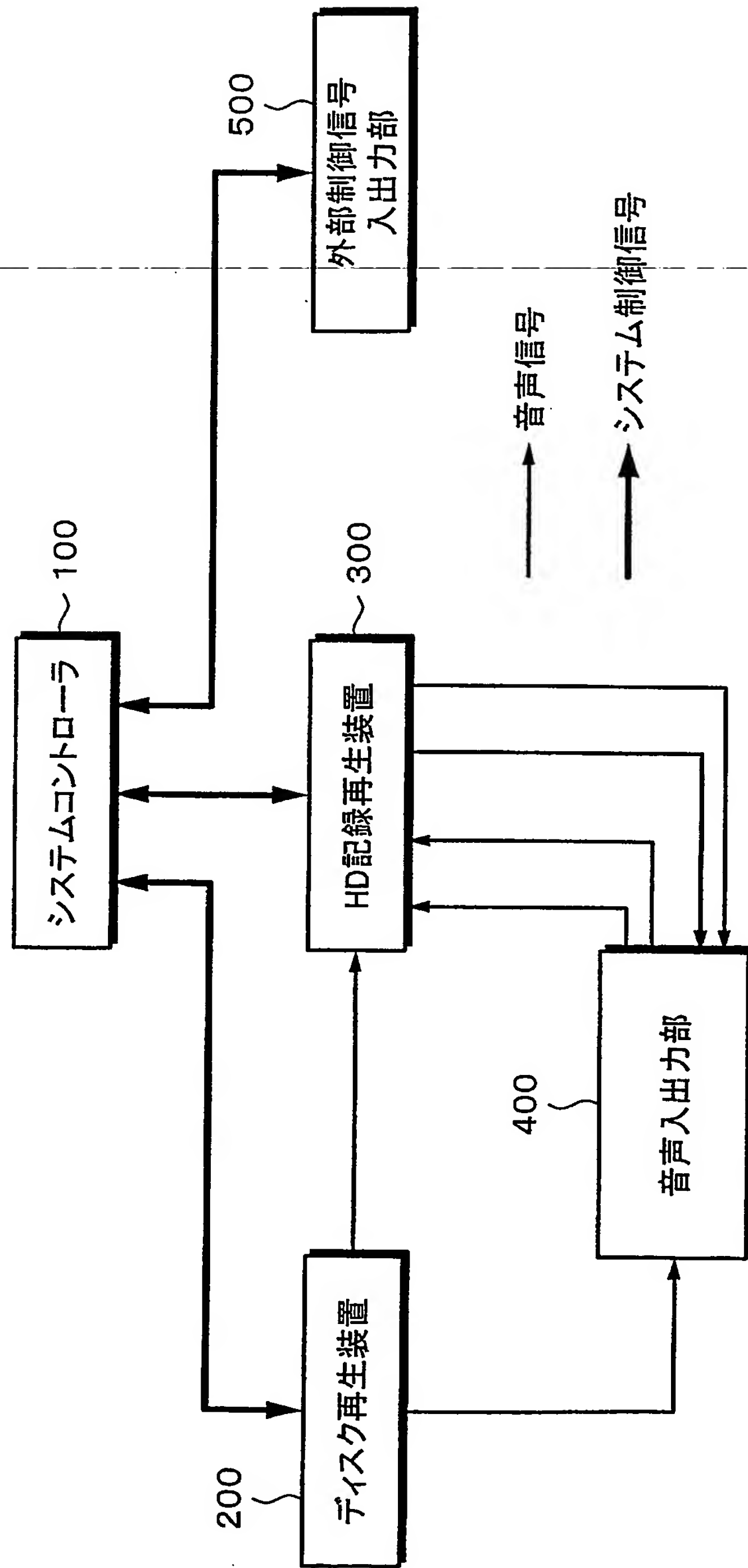
合には、上記制御手段は順次候補リストに属するプログラム／グループのハイライト部分を再生することを特徴とする請求の範囲 5 に記載の検索方法。

5 8. 上記候補リストの先頭のプログラム／グループのハイライト部分を繰返し再生するとともに、上記繰返し再生を行っている最中に確定指示がなされた場合には確定指示がなされたプログラム／グループの先頭から再生を開始することを特徴とする請求の範囲 5 に記載の検索方法。

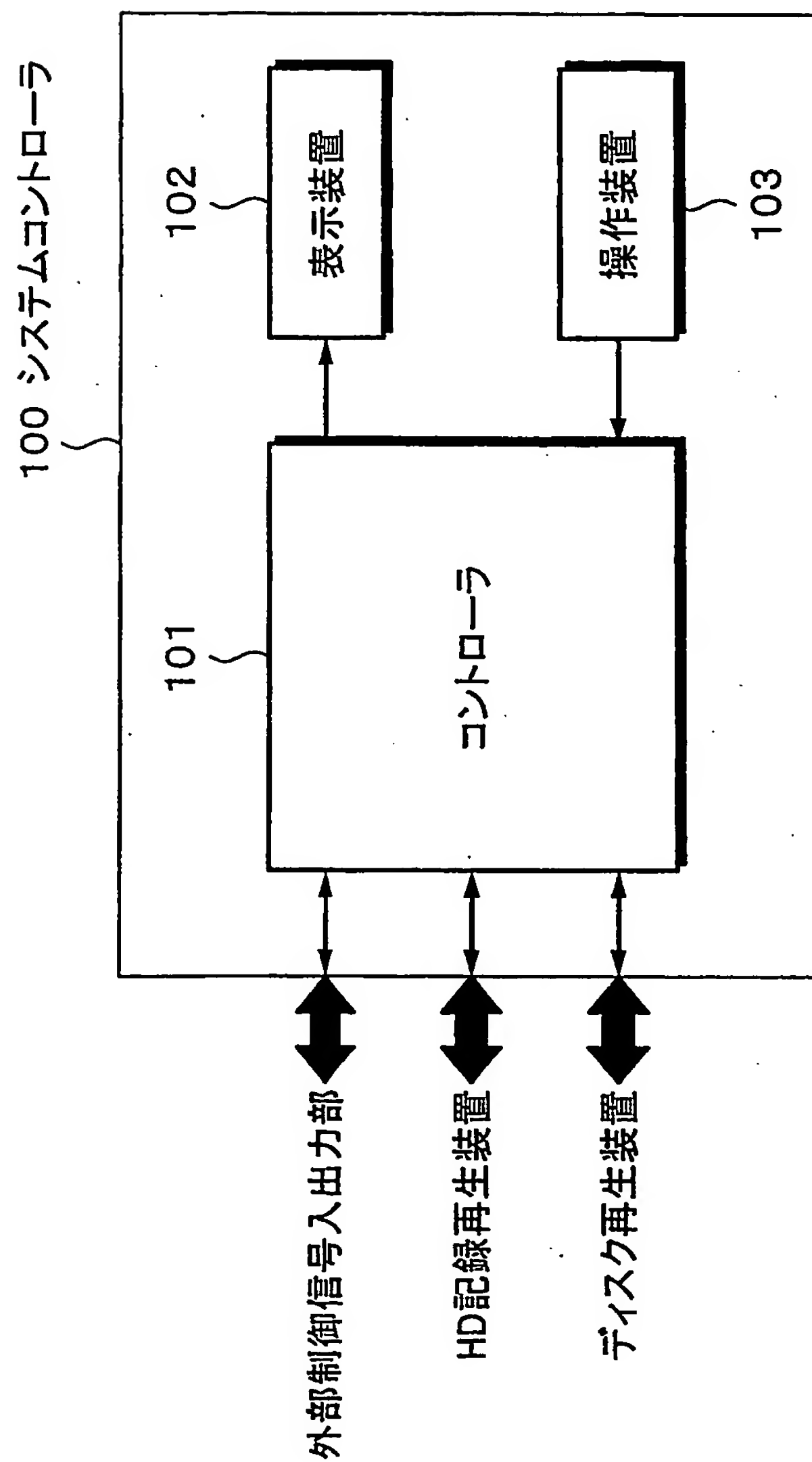
9. 上記候補リストに対応するプログラム／グループが複数存在する場合には、候補リストの先頭のプログラム／グループのハイライト部分を
10 繰返し再生するとともに、上記繰返し再生を行っている最中に次プログラム／次グループ選択指示がなされた場合には次プログラム／次グループのハイライト部分の繰返し再生を開始することを特徴とする請求の範囲 5 に記載の検索方法。

10. 上記プログラム／グループのハイライト部分を再生中に、上記プログラム／グループをプレイリストファイルに登録する要求がなされた
15 場合には、上記プログラム／グループをプレイリストファイルに登録する登録工程を備えることを特徴とする請求の範囲 6 に記載の検索方法。

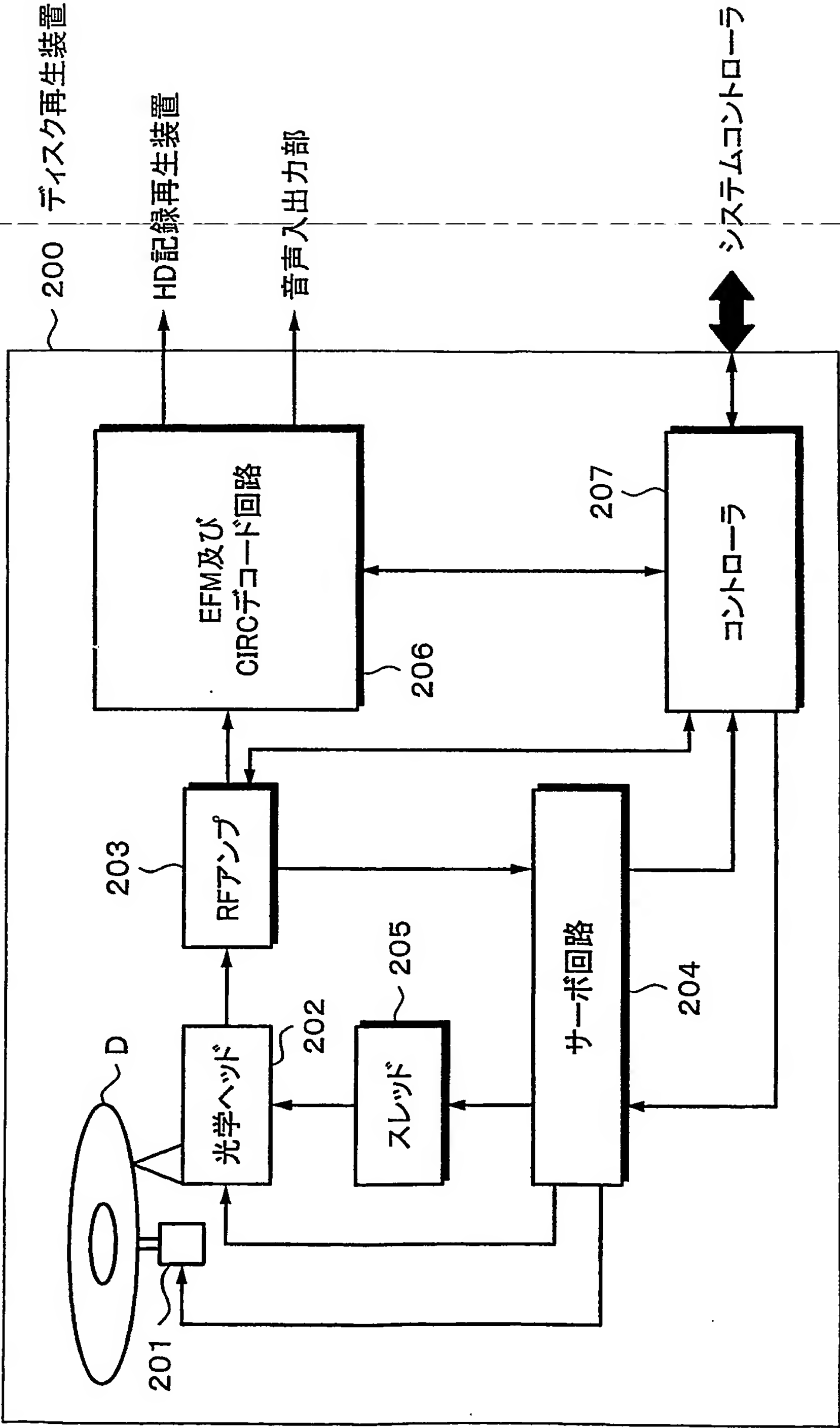
第1図



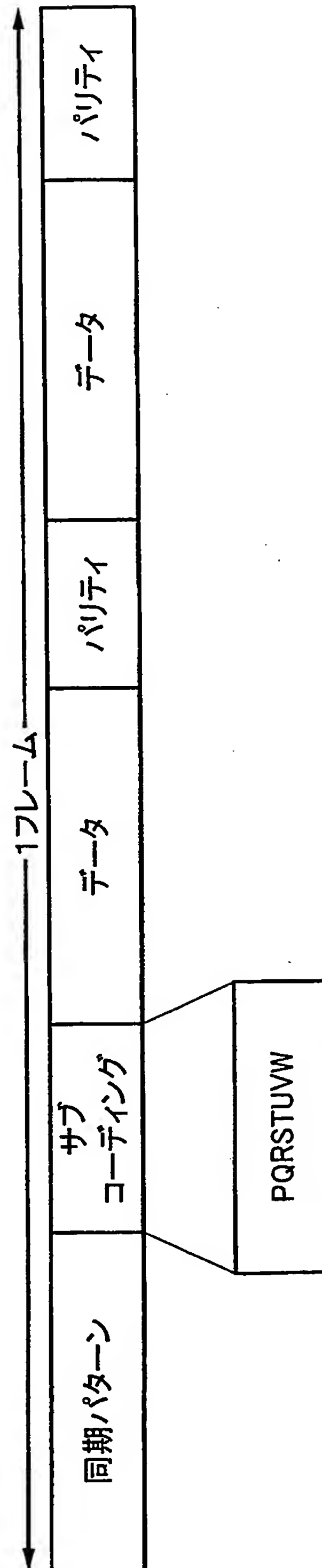
第2図



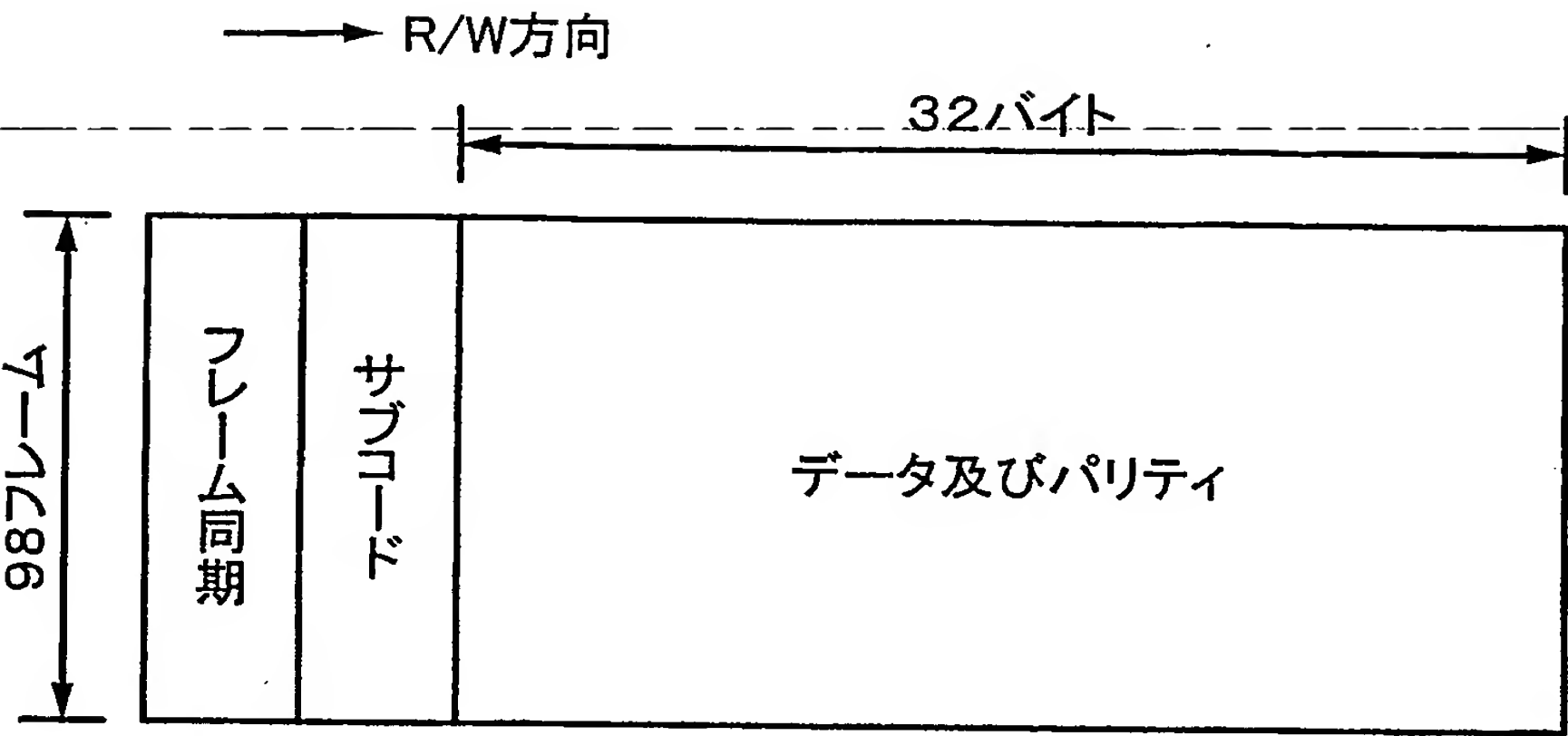
第3図



第4図



第 5 図



第 6 図

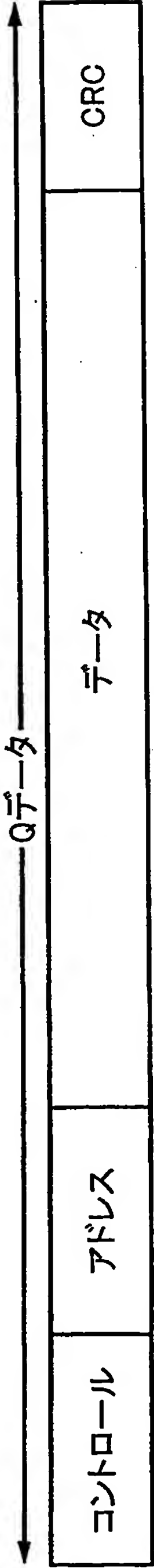
フレーム

	P	Q	R	S	T	U	V	W
F1	S0							
F2	S1							
F3	P1	Q1	R1	S1	T1	U1	V1	W1
F4	P2	Q2	R2	S2	T2	U2	V2	W2
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
F95	P93	Q93	R93	S93	T93	U93	V93	W93
F96	P94	Q94	R94	S94	T94	U94	V94	W94
F97	P95	Q95	R95	S95	T95	U95	V95	W95
F98	P96	Q96	R96	S96	T96	U96	V96	W96

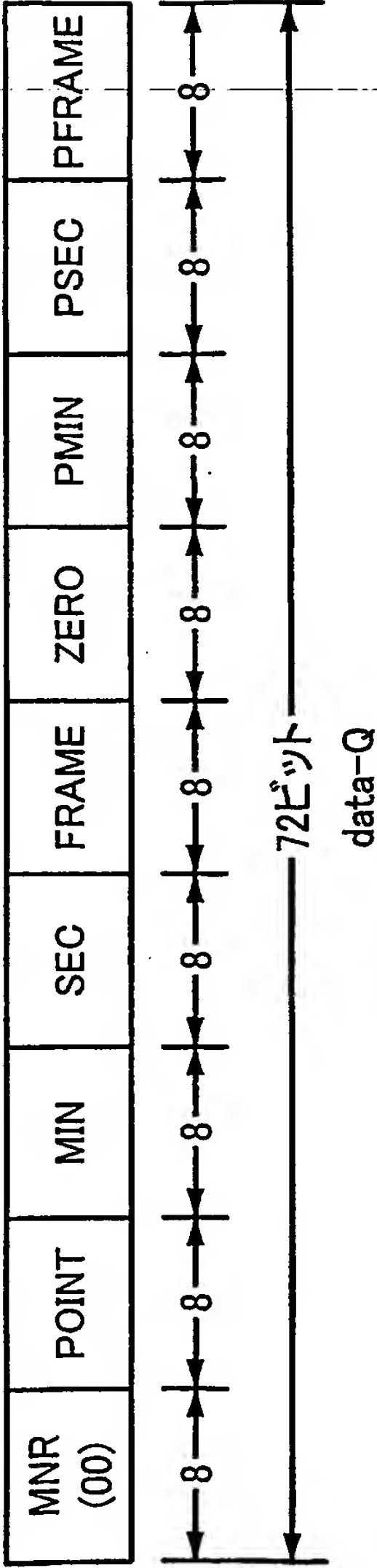
S0 = 00100000000001

S1 = 00000000010010

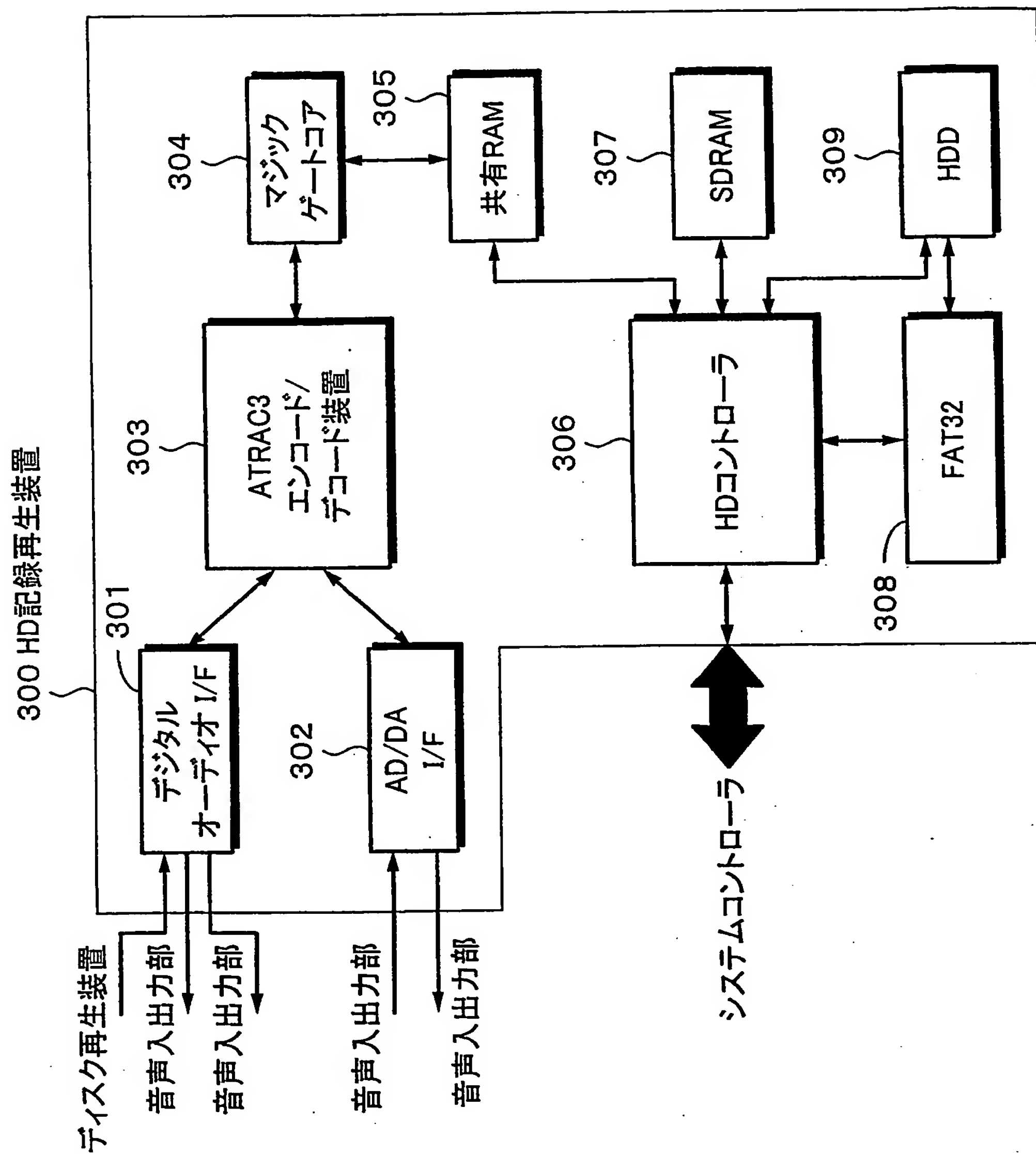
第7図



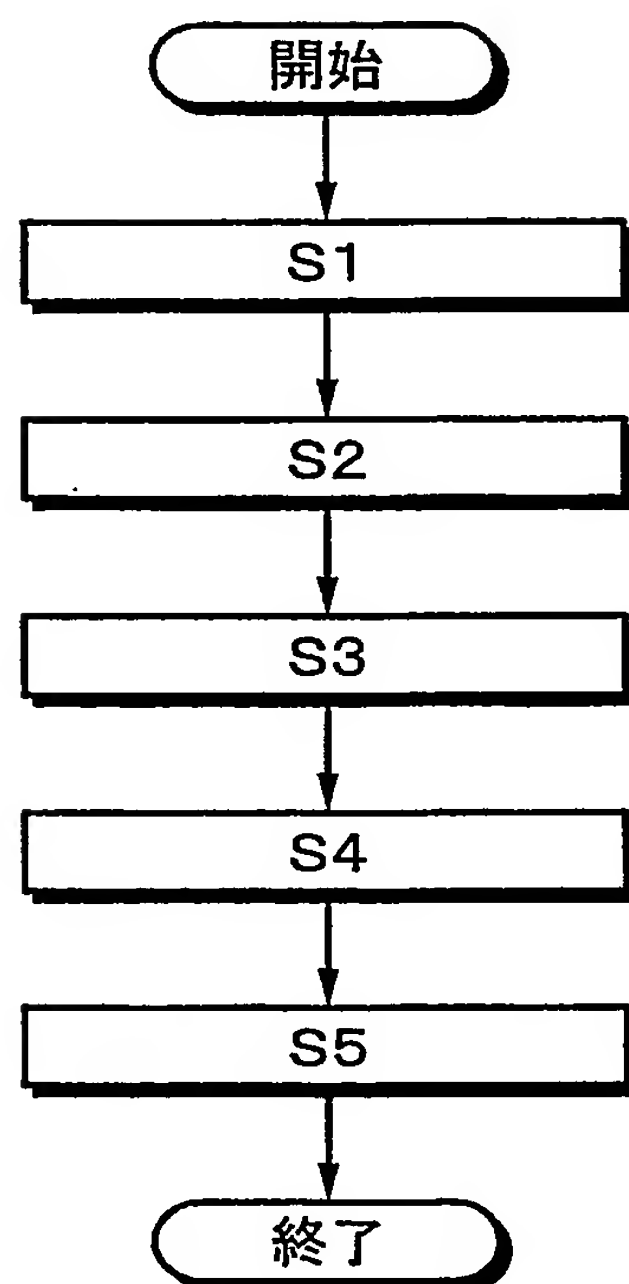
第8図



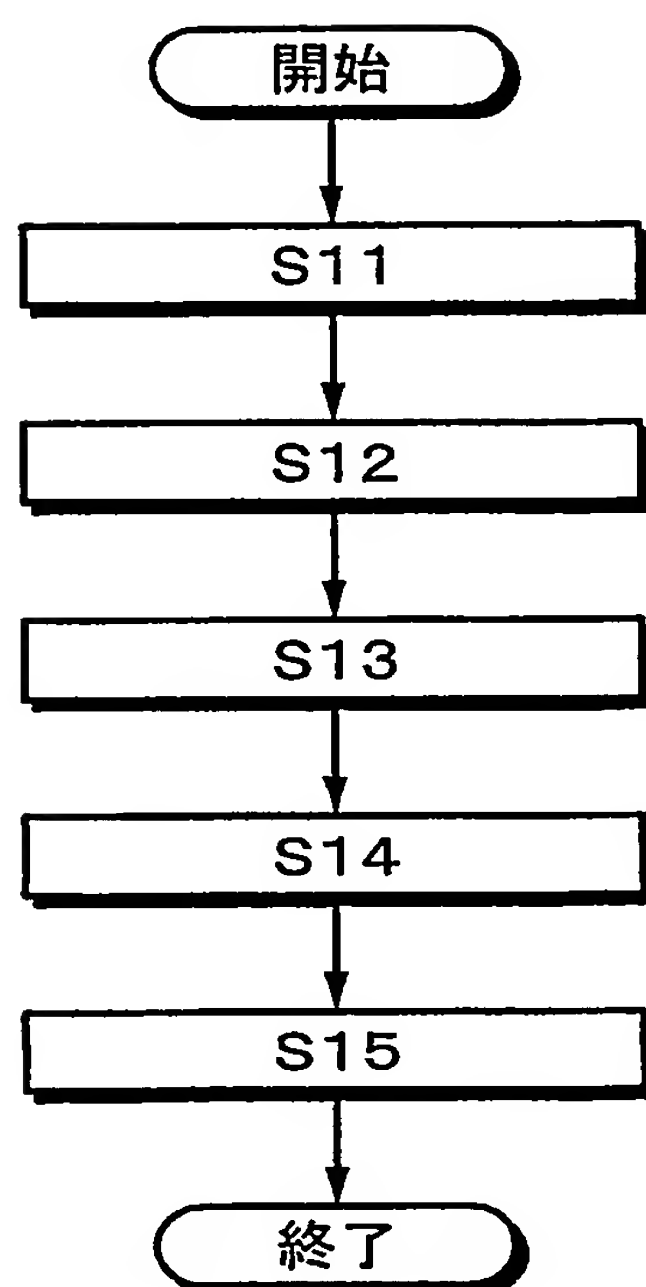
第9図



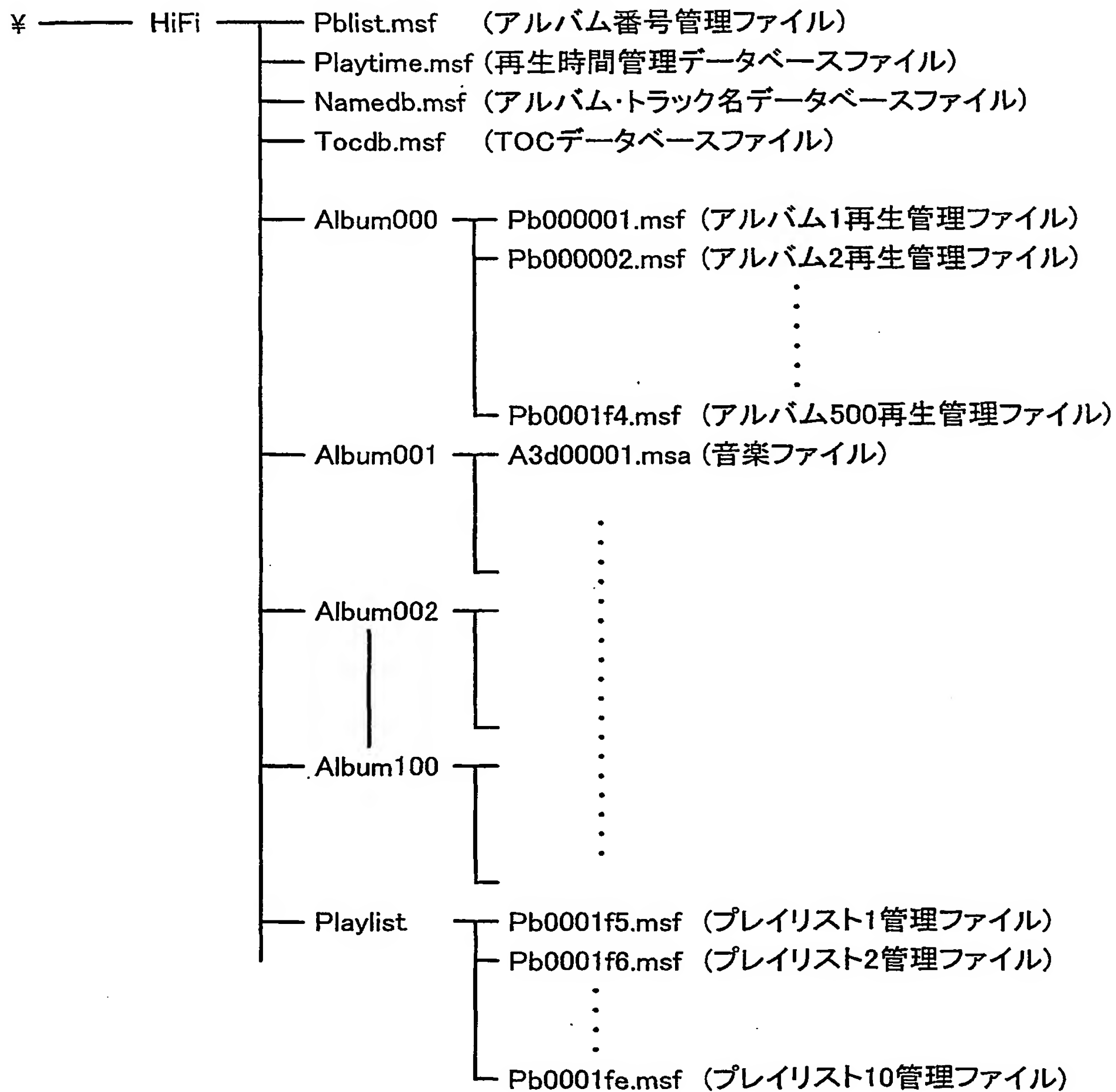
第 1 0 図



第 1 1 図



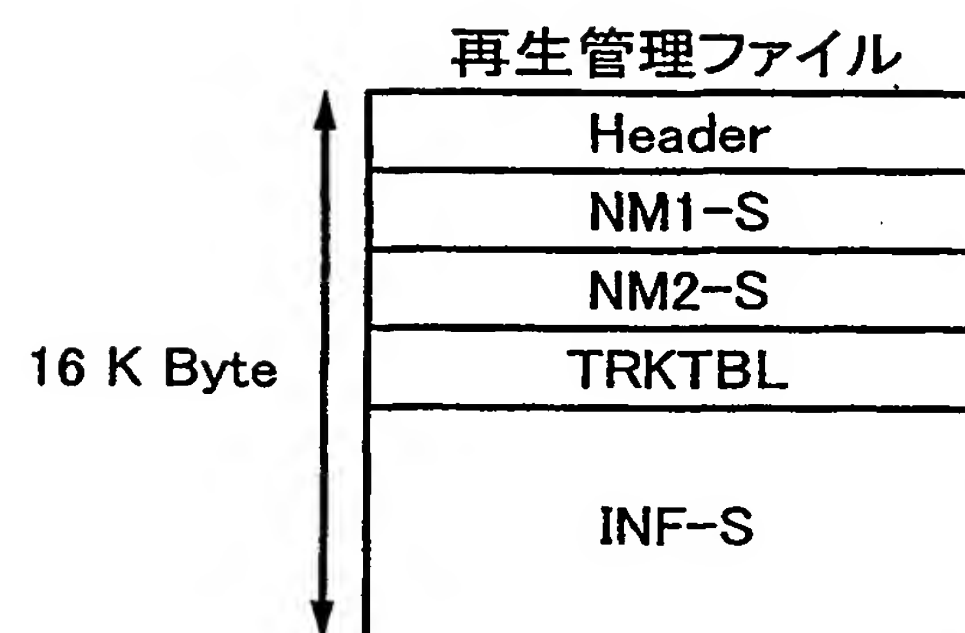
第 1 2 図



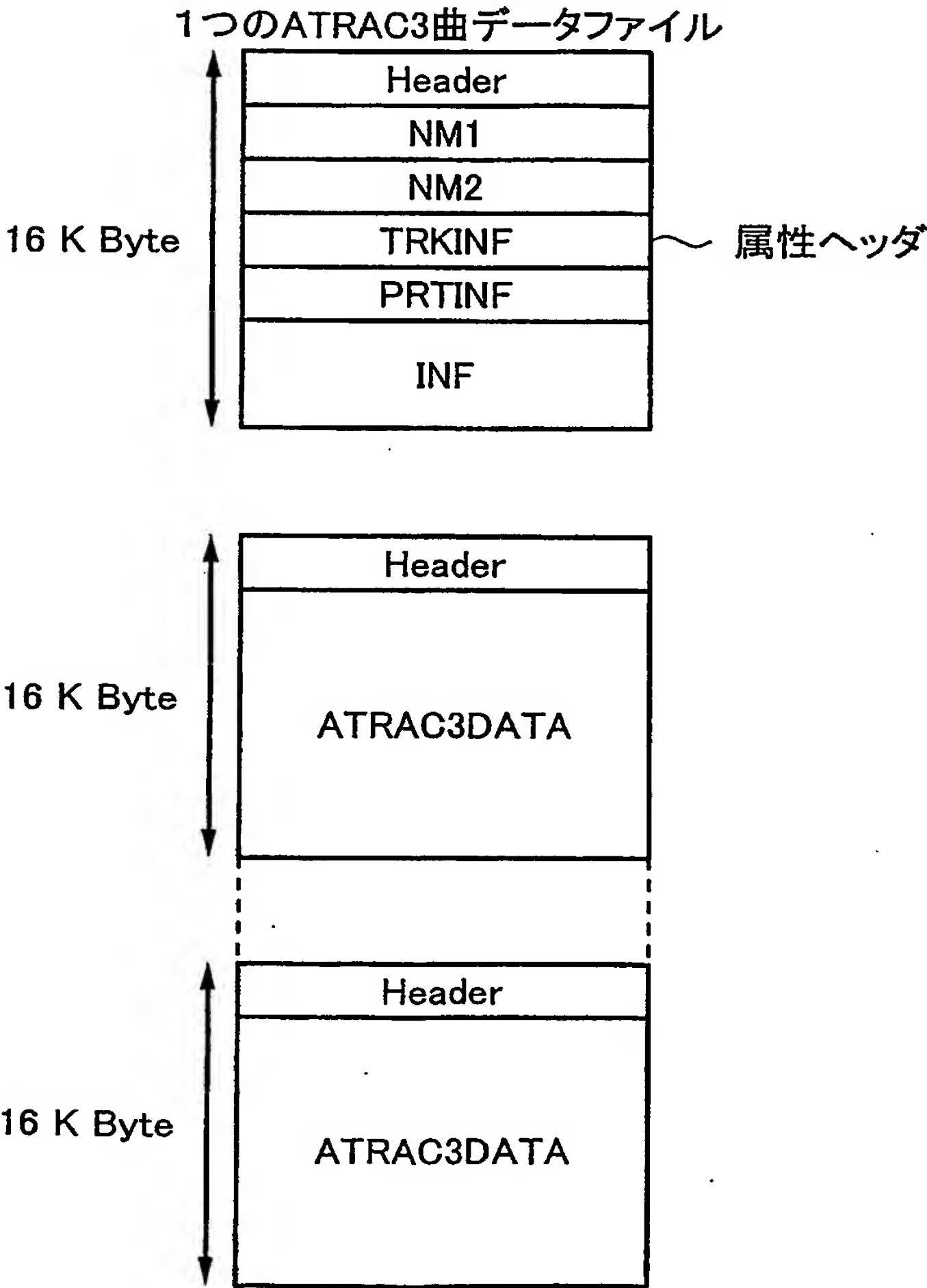
第 1 3 図

0x0000	BLKID-TL0				REVISION		
0x0010				T-ALB			
0x0020							
0x0120							
0x0320							
0x0330							
0x0350	Alb-001	Alb-002	Alb-003	Alb-004	Alb-005	Alb-006	Alb-007 Alb-008
0x0360	Alb-009	Alb-010	Alb-011	Alb-012	Alb-013	Alb-014	Alb-015 Alb-016
0x0740	Alb-505	Alb-506	Alb-507	Alb-508	Alb-509	Alb-510	
0x3ff0	BLKID-TL0				REVISION		

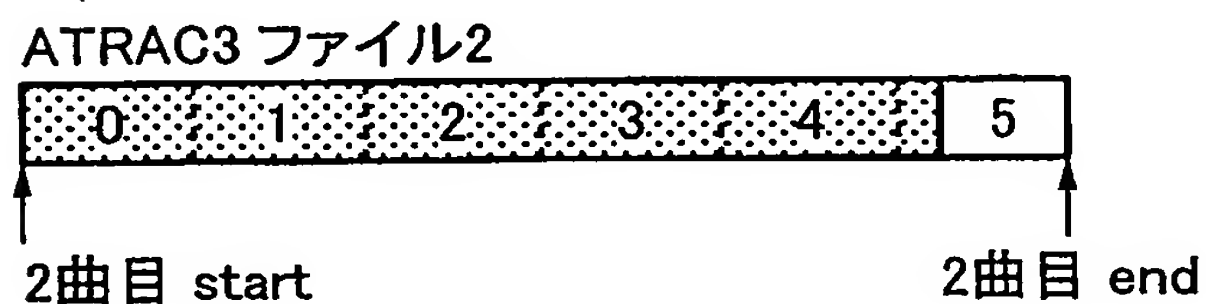
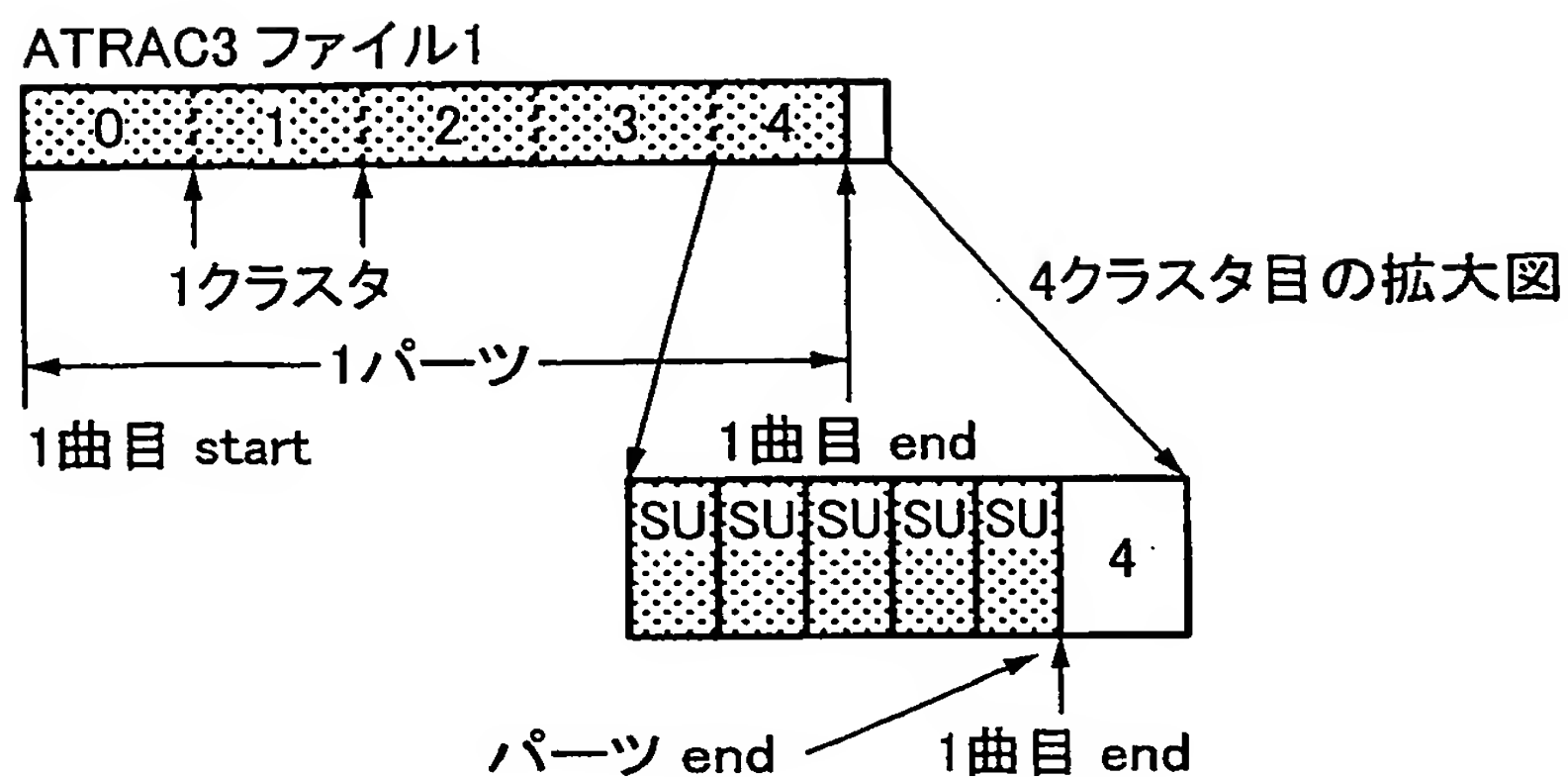
第 1 5 図



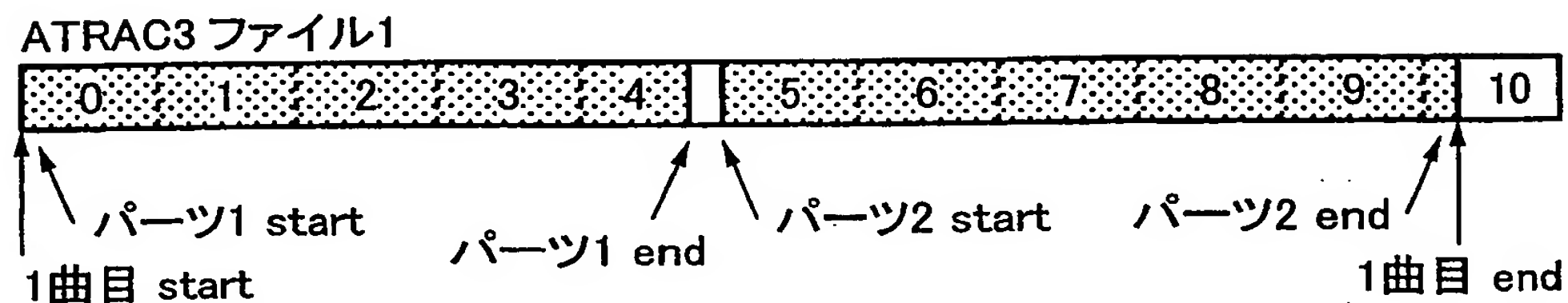
第 1 6 図



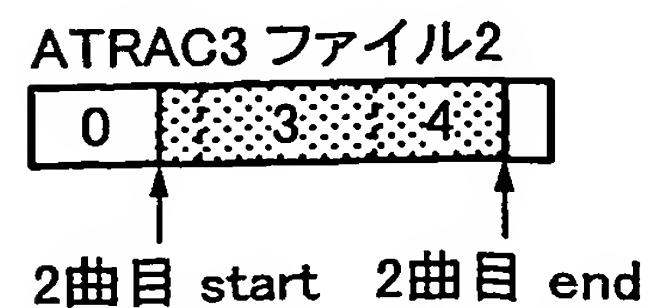
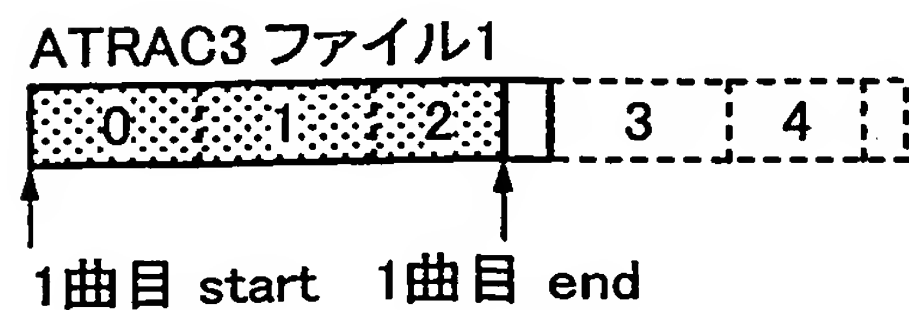
第 1 7 図 A



第 1 7 図 B



第 1 7 図 C



第 18 図

0x0000	BLKID-TL0		Reserved	Mcode	REVISION		Reserved
	SN1C+L	SN2C+L	SINFSIZE	T-TRK	Reserved	Reserved	
0x0020	NM1-S(256)						
0x0120	NM1-S(512)						
0x0320	Reserved				CONTENTSKEY		
0x0330	Reserved				C_MAC[0]		
							S-YMDhms
0x0350	TRK-001	TRK-002	TRK-003	TRK-004	TRK-005	TRK-006	TRK-007
0x0360	TRK-009	TRK-010	TRK-011	TRK-012	TRK-013	TRK-014	TRK-015
							TRK-016
0x0660	TRK-393	TRK-394	TRK-395	TRK-396	TRK-397	TRK-398	TRK-399
0x0670	INF-S(14720)						
0x3ff0	BLKID-TL0		Reserved	Mcode	REVISION		Reserved

第 1 9 図 A

0x0000	BLKID-TL0		Reserved	Mcode	REVISION		Reserved
	SN1C+L	SN2C+L	SINFSIZE	T-TRK	Reserved	Reserved	

0x0020	NM1-S(256)						
0x0120	NM1-S(512)						
0x0320	Reserved			CONTENTSKEY			
0x0330	Reserved			C_MAC[0]			
							S-YMDhms
0x0350	TRK-001	TRK-002	TRK-003	TRK-004	TRK-005	TRK-006	TRK-007
0x0360	TRK-009	TRK-010	TRK-011	TRK-012	TRK-013	TRK-014	TRK-015
0x0660	TRK-393	TRK-394	TRK-395	TRK-396	TRK-397	TRK-398	TRK-399
0x0670	INF-S(14720)						
0x3ff0	BLKID-TL0		Reserved	Mcode	REVISION		Reserved

第 1 9 図 B

INF	0x00	ID	0x00	SIZE	Mcode	C+L	Reserved	DATA可変長

第 1 9 図 C

第 2 0 図

0x0000	BLKID-HD0		Reserved	Mcode	REVISION		BLOCK SERIAL			
0x0010	N1C+L	N2C+L	INFSIZE	T-PRT	T-SU	INX		XT		
0x0020	NM1(256)									
0x0120	NM1(512)									
0x0310										
0x0320	Reserved				CONTENTSKEY					
	Reserved				C_MAC[n]					
	Reserved					WM	A	LT	FNo	
	MG(D)SERIAL-nnn(Upper)				MG(D)SERIAL-nnn(Lower)					
0x0360	CONNUM		YNDhms-S		YNDhms-E		MT	CT	CC	CN
0x0370	PRTSIZE		PRTKEY				Reserved			
0x0380			CONNUM-0		PRTSIZE(0x0388)		PRTKEY			
0x0390							CONNUM-0			
	INF(0x0400)INFの開始位置はPRTINFの数により異なる。									
0x3FF0	BLKID-HD0		Reserved	Mcode	Reserved		BLOCK SERIAL			
0x4000	BLKID-A3D		Reserved	Mcode	CONNUM-0		BLOCK SERIAL			
0x4010	BLOCK SERIAL				INITIALIZATION VECTOR					
0x4020										
	SU-000(Nbyte = 384byte)									
0x41A0										
	SU-001(Nbyte)									
0x4320										
	SU-002(Nbyte)									
0x04A0										
	SU-041(Nbyte)									
0x7DA0										
0x7F20	Reserved(Nbyte = 208byte)									
	BLOCK SEED									
0x7FF0	BLKID-A3D		Reserved	Mcode	CONNUM-0		BLOCK SERIAL			

第 2 1 図

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0x0000	BLKID-HD0				Reserved		Mcode		Reserved				BLOCK SERIAL			
0x0010	N1C+L		N2C+L		INFSIZE		T-PRT		T-SU				INX		XT	
0x0020	NM1(256)															
0x0120	NM2(512)															
0x0310																

第 2 2 図

0x0320	Reserved (8)				CONTENTSKEY								
	Reserved (8)				MAC								
	Reserved (12)						A	LT	FNo				
	MG(D)SERIAL-nnn												
0x0360	CONNUM			YMDhms-S			YMDhms-E			MT	CT	CC	CN

第 2 3 図

bit7:ATRAC3のモード 0: Dual 1: Joint

bit6,5,4 3bitのNはモードの値

N	モード	時間	転送レート	SU	バイト
7	HQ	47min	176kbps	31SU	512
6		58min	146kbps	38SU	424
5	EX	64min	132kbps	42SU	384
4	SP	81min	105kbps	53SU	304
3		90min	94kbps	59SU	272
2	LP	128min	66kbps	84SU	192
1	mono	181min	47kbps	119SU	136
0	mono	258min	33kbps	169SU	96

bit3: Reserved

bit2: データ区分 0: オーディオ 1: その他

bit1: 再生SKIP 0: 通常再生 1: SKIP

bit0: エンファシス 0: OFF 1: ON(50/15 μ S)

第 2 4 図

HCMS	bit7	コピー許可	0:コピー禁止	1:コピー可
	bit6	世代	0:オリジナル	1:第1世代以上
	bit5-4	高速デジタルコピーに関するコピー制御		
		00:コピー禁止	01:コピー第1世代	10:コピー可
		コピー第1世代のコピーした子供はコピー禁止とする。		
	bit3-2	MagicGate認証レベル		
		00:Level10(Non-MG)	01:Level1	
		10:Level2	11:Reserved	
		Level10以外はデバイド、コンバイン出来ません。		
	bit1,0	Reserved		

第 2 5 図

0x0370	PRTSIZE	PRTKEY		Reserved (8)
0x0380		CONNUM0	PRTSIZE(0x0388)	PRTKEY
0x0390		Reserved (8)		CONNUM0

第 2 6 図

0x4000	BLKID-A3D	Reserved	Mcode	CONNUM0	BLOCK SERIAL
0x4010	BLOCK SEED			INITIALIZATION VECTOR	
0x4020	SU-000 (Nbyte = 384 byte)				

第 2 7 図

ANM0		1		
1	0X0209	ALBUM NAME 1	0X0209	ARTIST 1
2	0X0000	0	0X0000	0
61	0X0209	ALBUM NAME 61	0X0209	ARTIST 61
62	0X0209	ALBUM NAME 62	0X0209	ARTIST 62
RESERVED				
(アルバム名称トラック) :				
ANM0		9		
497	0X0209	ALBUM NAME 1	0X0209	ARTIST 1
498	0X0000	0	0X0000	0
499				
500	0X0209	ALBUM NAME 62	0X0209	ARTIST 62
RESERVED				
TNM0		10		
1	0X0209	TRACK NAME 1	0X0209	ARTIST 1
2	0X0000	0	0X0000	0
61	0X0209	TRACK NAME 61	0X0209	ARTIST 61
62	0X0209	TRACK NAME 62	0X0209	ARTIST 62
RESERVED				
曲名称ブロック :				
TNM0		332		
19965	0X0209	TRACK NAME 19965	0X0209	ARTIST 19972
19966	0X0000	0	0X0000	0
19999	0X0209	TRACK NAME 19999	0X0209	ARTIST 19999
20000	0X0209	TRACK NAME 20000	0X0209	ARTIST 20000
RESERVED				

第 2 8 図

BLK-ID	ブロックシリアル番号
4バイト	4バイト

第29図

アルバム/曲ファイル番号	予約	文字言語コード	曲/アルバム名称	文字言語コード	アーティスト名称
2バイト	2バイト	2バイト	128バイト	2バイト	128バイト

第 3 0 図

TRK0	1			
1	1	10320	1	1
2	1	7740	1	2
3	2	12900	2	1
4	0	0	0	0
1364	0	0	0	0
1365	0	0	0	0
RESERVED				
TRK0	2			
1366	0	0	0	0
2729	0	0	0	0
2730	0	0	0	0
RESERVED				
ブロック3～14				
TRK0	15			
19111	0	0	0	0
19999	500	10320	0	0
20000	499	9030	500	1
RESERVED				

第 3 1 図

BLK-ID	ブロックシリアル番号
4バイト	4バイト

第32図

曲ファイル番号	アルバムファイル番号	曲トータルSU	TOCDB IDX	TOC TNO
2バイト	2バイト	4バイト	2バイト	2バイト

第 3 3 図

BLK レコード
ALBUM TOC レコード
ALBUM TOC レコード
⋮
ALBUM TOC レコード
RESERVED レコード

第 3 4 図

BLK-ID	ブロックシリアル番号	アルバム数
4バイト	4バイト	4バイト

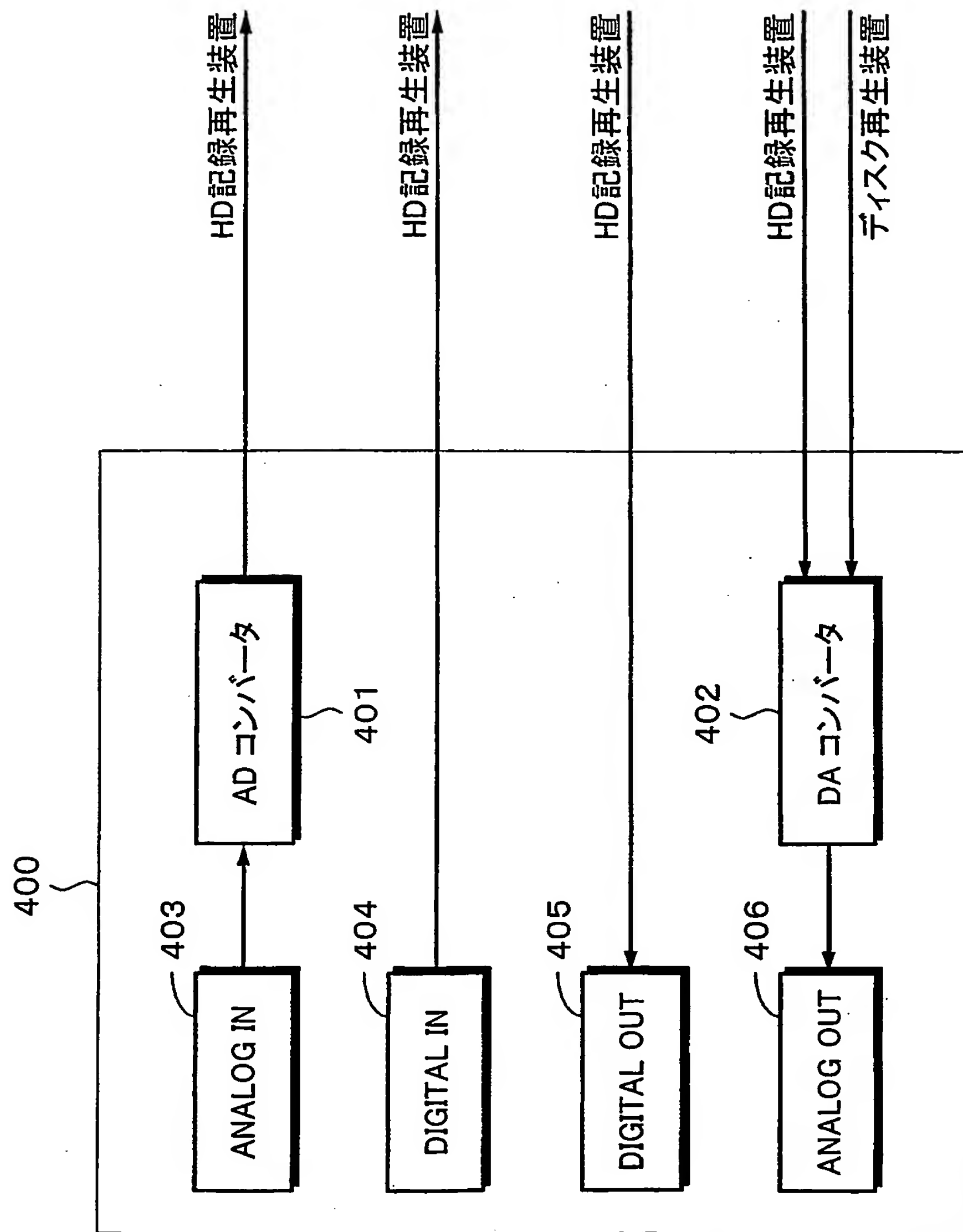
第 3 5 図

TOC DB IDX	使用状態	TOC情報	TOC情報
2バイト	2バイト	4バイト	4バイト

第 3 6 図

Trk No.	AMIN	ASEC	AFRAME
1バイト	1バイト	1バイト	1バイト

第37図



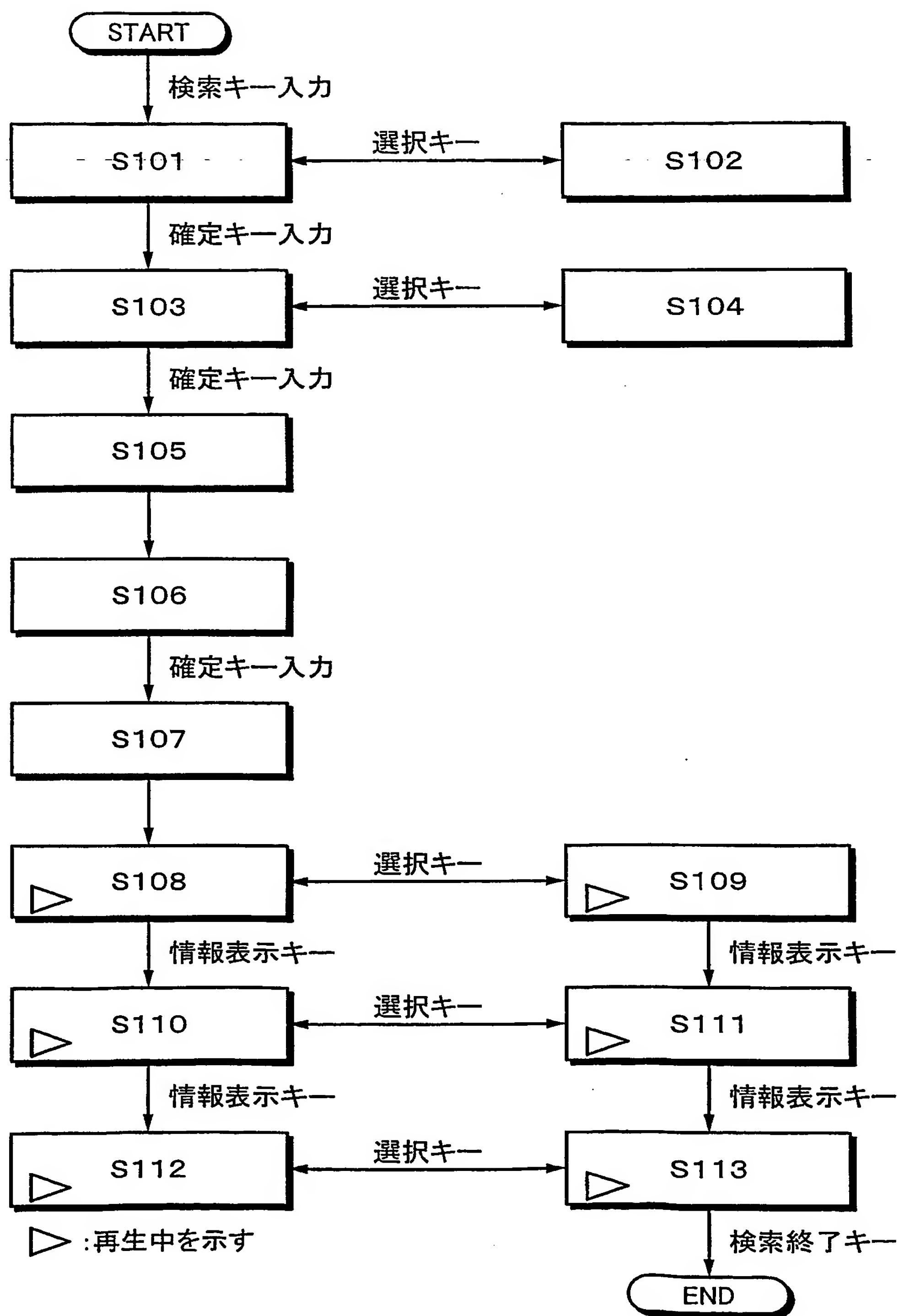
第 3 8 図

Album番号	タイトル	アーティスト名
Album 1	Miles Smiles	Miles Davis Quintet
Album 2	Pornograffiti	Extreme
Album 3	Master of Puppets	Metallica
Album 4	Distance	Utada Hikaru
Album 5	A day without Rain	Enya
Album 6	Love Songs	Elton John
Album 7	A best	Hamasaki Ayumi
Album 8	8:30	Weather Report

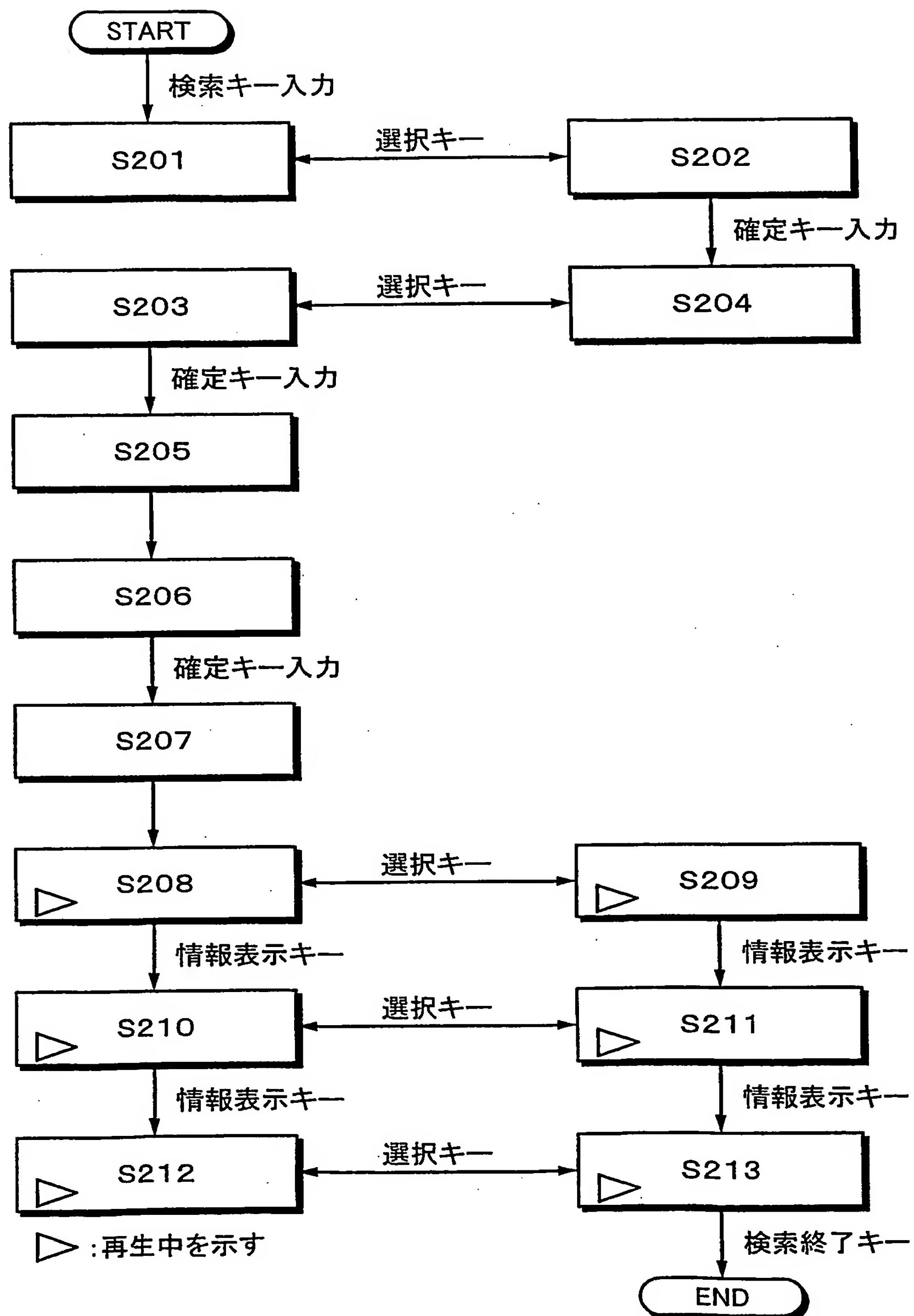
第 39 図

Album 7	8:30		Weather Report	
Track 1	Black Market		Weather Report	2:22 ~ 2:32
Track 2	Teen Town		Weather Report	1:44 ~ 1:54
Track 3	A Remark You Made		Weather Report	2:56 ~ 3:06
Track 4	Slang		Weather Report	3:00 ~ 3:10
Track 5	In a Silent Way		Weather Report	0:00 ~ 0:10
Track 6	Birdland		Weather Report	6:48 ~ 6:58
Track 7	Thanks For The Memory		Weather Report	2:18 ~ 2:28
Track 8	Badia/Boogie Woogie Waltz Medley		Weather Report	9:19 ~ 9:29
Track 9	8:30		Weather Report	1:00 ~ 1:10
Track 10	Brown Street		Weather Report	4:32 ~ 4:42
Track 11	The Orphan		Weather Report	3:00 ~ 3:10
Track 12	Sightseeing		Weather Report	0:55 ~ 1:05

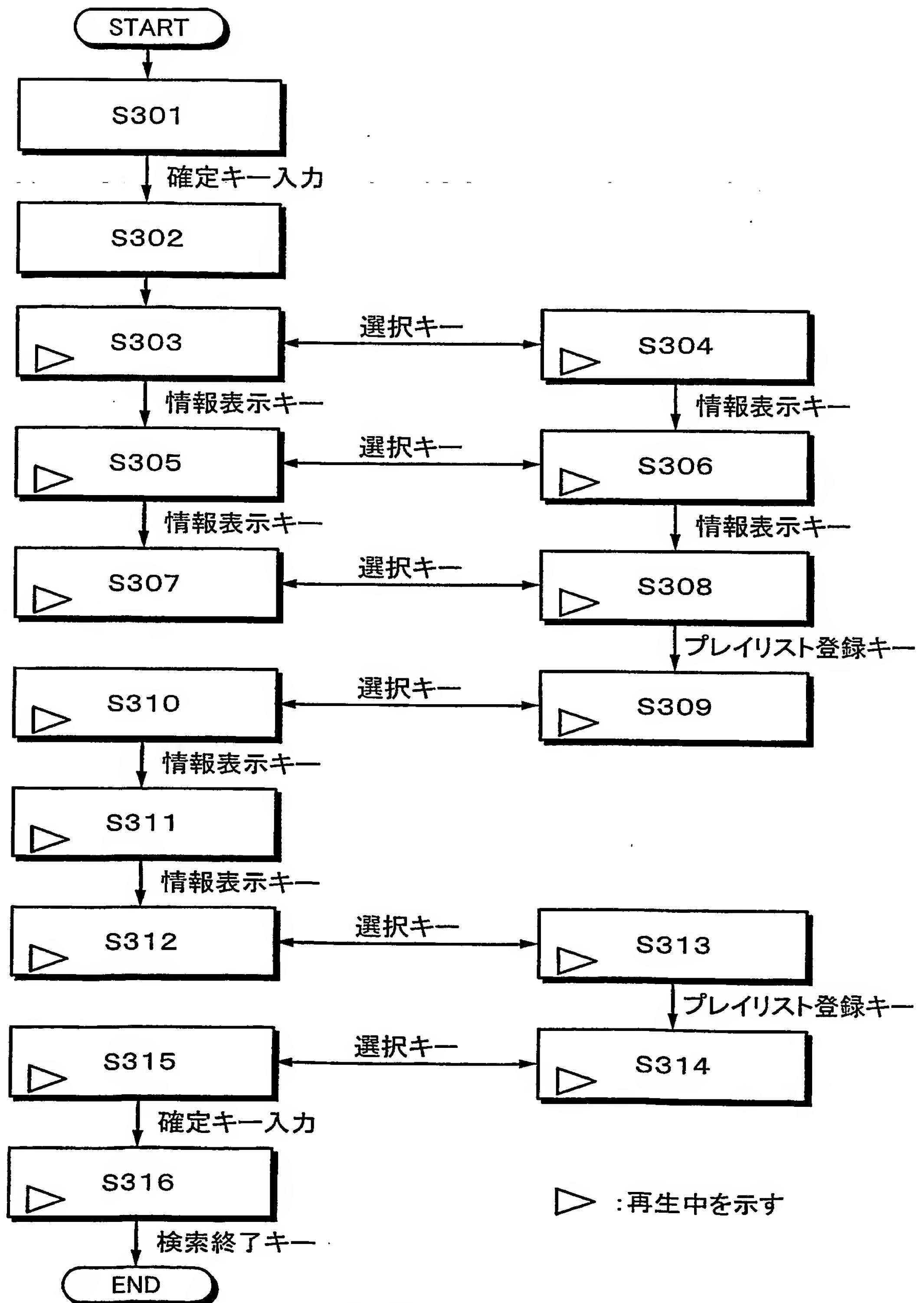
第40図



第41図



第 4 2 図



符号の説明

1 0 0	システムコントローラ
1 0 1	コントローラ
1 0 2	表示装置
1 0 3	操作装置
2 0 0	ディスク再生装置
2 0 1	スピンドルモータ
2 0 2	光学ヘッド
2 0 3	R F アンプ
2 0 4	サーボ回路
2 0 5	スレッド
2 0 6	E F M 及び C I R C デコード回路
2 0 7	コントローラ
3 0 0	H D 記録再生装置
3 0 1	デジタルオーディオ I / F
3 0 2	A D / D A I / F
3 0 3	エンコード / デコード装置
3 0 4	マジックゲートコア
3 0 5	共有 R A M
3 0 6	H D コントローラ
3 0 7	S D R A M
3 0 8	F A T 3 2 ファイルシステム
3 0 9	H D D
4 0 0	音声入出力部
4 0 1	A D コンバータ

- 4 0 2 D A コンバータ
- 4 0 3 アナログ入力端子
- 4 0 4 デジタル入力端子
- 4 0 5 デジタル出力端子
- 4 0 6 アナログ出力端子
- 5 0 0 外部信号入出力部
- S 1 新規ファイル作成
- S 2 圧縮
- S 3 暗号化
- S 4 共有 R A M 3 0 5 から S D R A M 3 0 7 に音楽データを転送
- S 5 S D R A M 3 0 7 から H D D 3 0 9 に音楽データを転送
- S 1 1 再生ファイルオープン
- S 1 2 H D D 3 0 9 から共有 R A M 3 0 5 に音楽データを転送
- S 1 3 S D R A M 3 0 7 から共有 R A M 3 0 5 に音楽データを転送
- S 1 4 復号
- S 1 5 伸張
- S 1 0 1 H D F o r A l b u m ?
- S 1 0 2 H D F o r T r a c k ?
- S 1 0 3 H D B y T i t l e ?
- S 1 0 4 H D B y A r t i s t ?
- S 1 0 5 H D K e y w o r d I N
- S 1 0 6 H D P _
- S 1 0 7 H D S e a r c h i n g
- S 1 0 8 H D 1 / 2
- S 1 0 9 H D 2 / 2
- S 1 1 0 H D A l b u m 2

S 1 1 1 HD A l b u m 3
S 1 1 2 HD P o r n o g r a f f i t t i
S 1 1 3 HD M a s t e r o f P u p p e t s
S 2 0 1 HD F o r A l b u m ?
S 2 0 2 HD F o r T r a c k ?
S 2 0 3 HD B y A r t i s t ?
S 2 0 4 HD B y T i t l e ?
S 2 0 5 HD K e y w o r d I N
S 2 0 6 HD W e a t h e _
S 2 0 7 HD S e a r c h i n g
S 2 0 8 HD 1 / 7
S 2 0 9 HD 2 / 7
S 2 1 0 HD B l a c k M a r k e t
S 2 1 1 HD T e e n T o w n
S 2 1 2 HD A l b u m 8 T r a c k 1
S 1 1 3 HD A l b u m 8 T r a c k 2
S 3 0 1 HD i t
S 3 0 2 HD S e a r c h i n g
S 3 0 3 HD 1 / 2
S 3 0 4 HD 2 / 2
S 3 0 5 HD A l b u m 2
S 3 0 6 HD A l b u m 5
S 3 0 7 HD P o r n o g r a f f i t t i
S 3 0 8 HD A d a y w i d t h o u t R a i n
S 3 0 9 HD P . L i s t 5 0 1 ?
S 3 1 0 HD P . L i s t 5 0 2 ?

S 3 1 1 HD C o m p l e t e ! !

S 3 1 2 HD 2 / 2

S 3 1 3 HD 1 / 2

S 3 1 4 HD P . L i s t 5 0 1 ?

S 3 1 5 HD P . L i s t 5 0 9 ?

S 3 1 6 HD C o m p l e t e ! !

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ G06F17/30, G11B27/10, G11B27/34, G06F12/00

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ G06F17/30, G11B27/10, G11B27/34, G06F12/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2002
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2002	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2002

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

JICST FILE (JOIS), WPI, INSPEC (DIALOG)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP 10-208445 A (Sony Corp.), 07 August, 1998 (07.08.98), Particularly, Par. Nos. [0092] to [0102]; Fig. 8 (Family: none)	1-4, 6-9 5, 10
Y	Kimihiko KIMURA, "Sumitomo Kinzoku System Kaihatsu MP3 JUKEBOX4.4 by MusicMatch", PC fan, Vol.7, No.9, Mainichi Communications Inc. (JP), 15 May, 2000 (15. 05.00), page 133	5, 10
A	Tamosuke KADOTANI, "Sukina Ongaku o Digital-ka Pasocon o Juke Box ni! MP3 File Sakusei Hayawakari Guide", first edition, Kabushiki Kaisha Kogakusha (JP), 10 October, 1999 (10.10.99), pages 108 to 111	1-10

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not
considered to be of particular relevance"E" earlier document but published on or after the international filing
date"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is
cited to establish the publication date of another citation or other
special reason (as specified)"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other
means"P" document published prior to the international filing date but later
than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or
priority date and not in conflict with the application but cited to
understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be
considered novel or cannot be considered to involve an inventive
step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be
considered to involve an inventive step when the document is
combined with one or more other such documents, such
combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
03 October, 2002 (03.10.02)Date of mailing of the international search report
15 October, 2002 (15.10.02)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/30 G11B27/10 G11B27/34 G06F12/00

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/30 G11B27/10 G11B27/34 G06F12/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年

日本国公開実用新案公報 1971-2002年

日本国登録実用新案公報 1994-2002年

日本国実用新案登録公報 1996-2002年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

JICSTファイル (JOIS), WPI, INSPEC (DIALOG)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X Y	JP 10-208445 A (ソニー株式会社) 1998.08.07 特に、段落0092~0102及び図8参照。 (ファミリーなし)	1-4, 6-9 5, 10
Y	木村公彦, 住友金属システム開発 MP3 JUKEBOX4.4 by MusicMatch, PC fan, Vol.7, No.9, 株式会社毎日コミュニケーションズ (日), 2000.05.15, p.133.	5, 10
A	角谷たもすけ, 好きな音楽をデジタル化 パソコンをジュークボッ クスに! MP3ファイル作成はわかりガイド, 初版, 株式会社工学社, (日), 1999.10.10, pp.108-111.	1-10

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

03.10.02

国際調査報告の発送日

15.10.02

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

野崎 大進

5M

9289

電話番号 03-3581-1101 内線 3597

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ ~~FADED TEXT OR DRAWING~~
- ☐ ~~BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING~~
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)